

名古屋市
P T A活動活性化に向けたアンケート
調査結果報告書

令和7年12月

名古屋市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	3
1	回答者属性.....	3
2	P T Aの加入について.....	6
3	P T A活動の参加状況について.....	17
4	今後のP T Aについて.....	29
5	P T S A活動について.....	35

I 調査の概要

1 調査の目的

単位PTA（学校単位のPTA）の活動活性化支援に向けた施策の方向性を検討する上での基礎資料とするため、幼稚園・小学校・中学校・高等学校に児童生徒を通わせている保護者に向けての実態調査を実施しました。

2 調査対象

名古屋市内に通う、幼稚園・小学校・中学校・高等学校の保護者（抽出型）

3 調査期間

令和7年7月3日～令和7年7月31日


4 調査方法

オンライン調査方式用回答フォームによる回答

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
5,997件	2,883件	48.1%

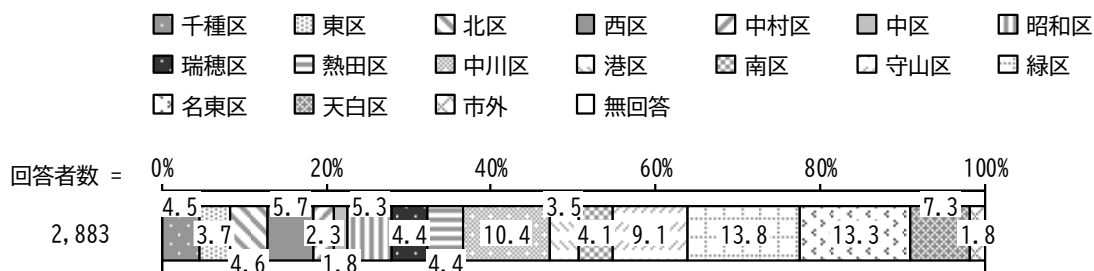
6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計を行う際、無回答と特定回答とのクロス分析からは有効な結果が得られないため、無回答を排除しています。そのため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、ある設問への回答について、特定のグループ（PTA加入者と非加入者等）の間の回答分布の違いを明らかにし、回答結果をより詳細に分析するためのものです。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

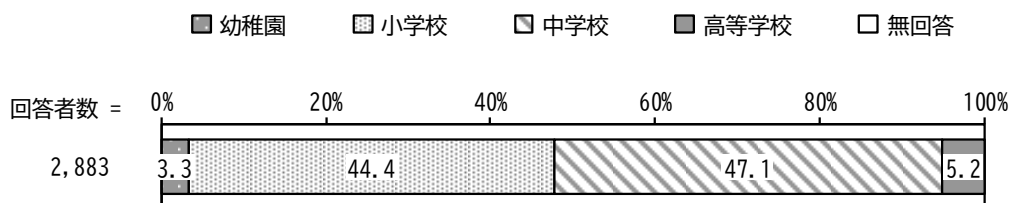
Ⅱ 調査結果

1 回答者属性

問1－1 あなたのお住まいの区を選んでください。



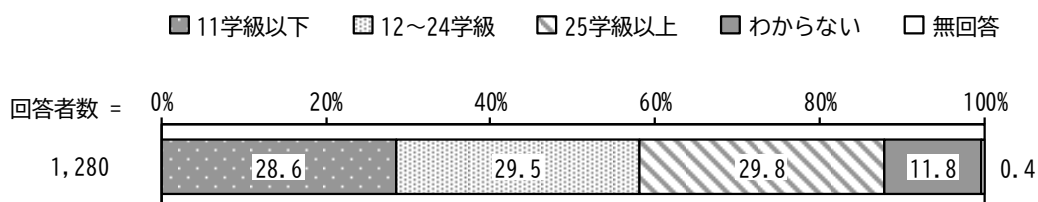
問1－2 回答依頼の届いた学校（園）の校種を選んでください。



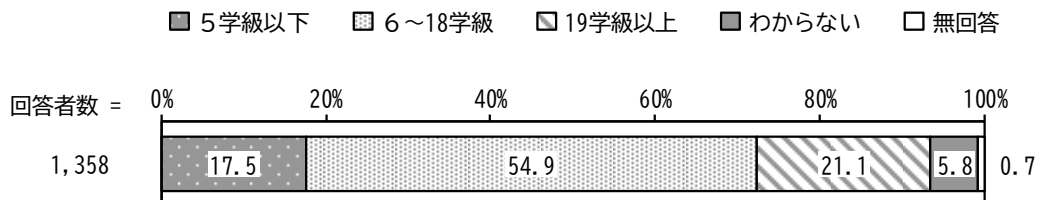
【小学校・中学校を選択した方】

問1－2 で選んだ学校の全学級数であてはまるものを選んでください。（無回答あり）

小学校

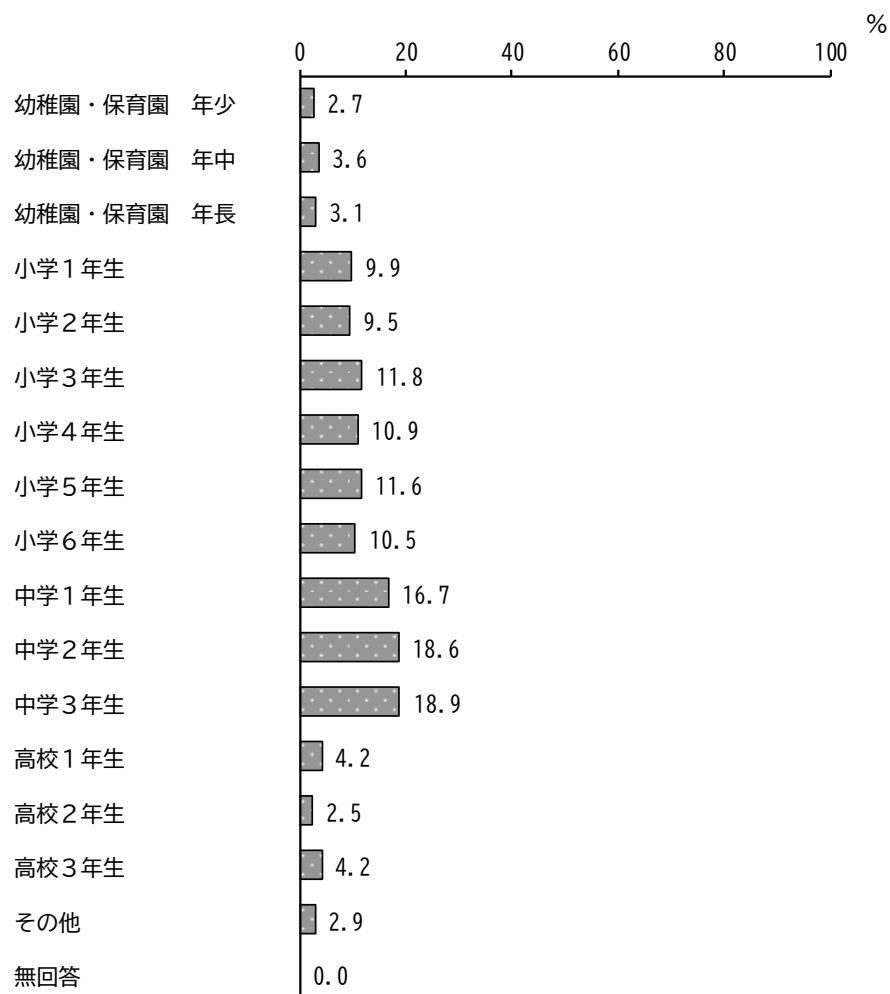


中学校



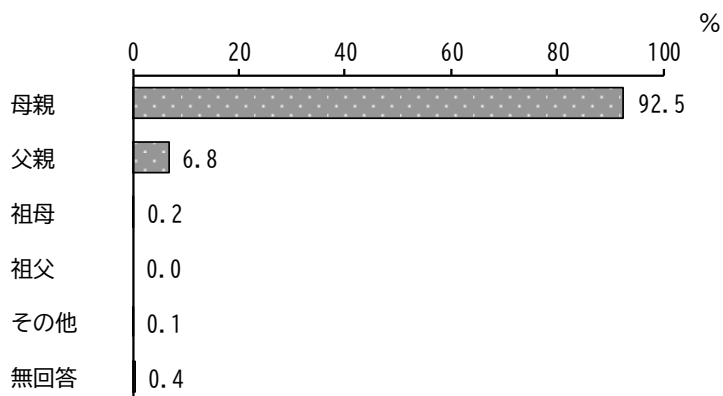
問1－3 あなたのお子さんの学年を選んでください。(回答依頼の届いた学校(園)に在籍
 するお子さんだけでなく、養育しているお子さんすべての学年を選んでください)
 ○はいくつでも

回答者数 = 2,883



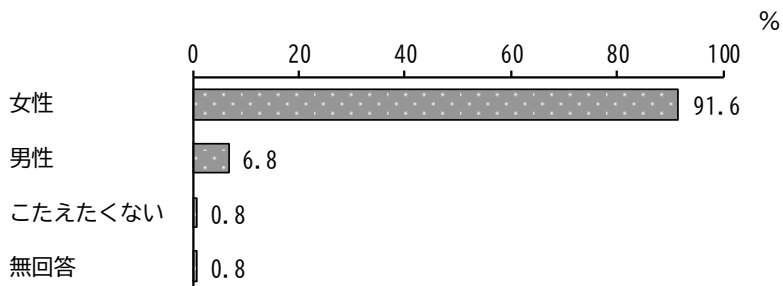
問1－4 あなたとお子さんとの関係を選んでください。(無回答あり)

回答者数 = 2,883



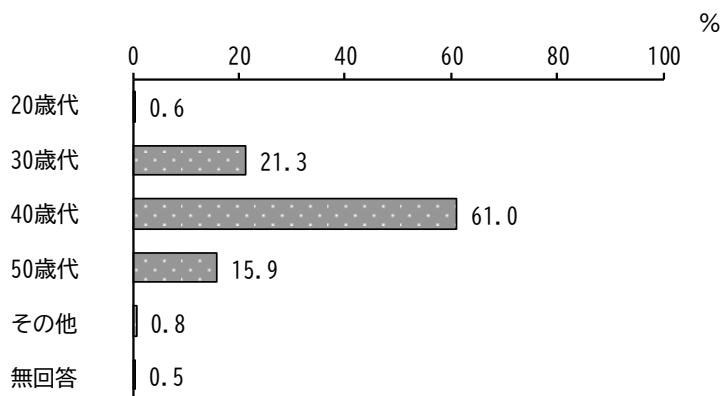
問１－５ あなたの性別であてはまるものを選んでください。（無回答あり）

回答者数 = 2,883



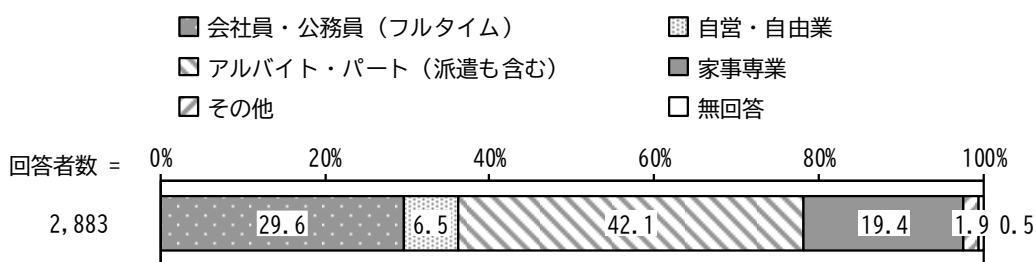
問１－６ あなたの年代で該当するものを選んでください。（無回答あり）

回答者数 = 2,883



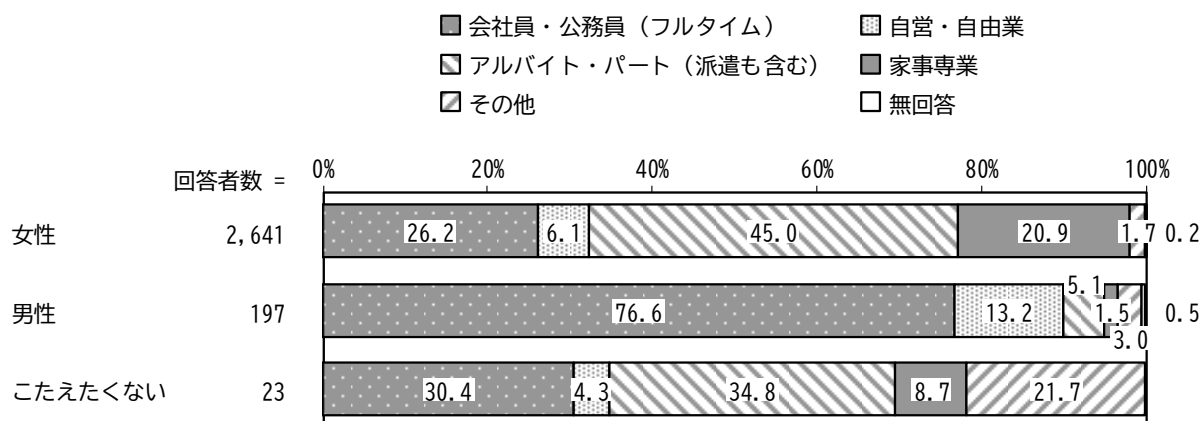
問１－７ あなたの就労形態で該当するものを選んでください。（無回答あり）

「アルバイト・パート（派遣も含む）」の割合が42.1%と最も高く、次いで「会社員・公務員（フルタイム）」の割合が29.6%、「家事専業」の割合が19.4%となっています。



【性別】

男性で「会社員・公務員（フルタイム）」の割合が高くなっています。



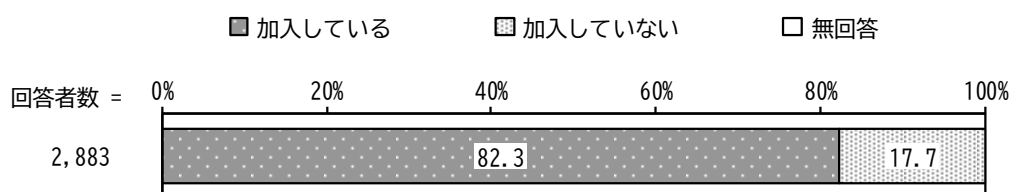
2 P T Aの加入について

【調査結果概要】

- P T Aへの加入状況では、「加入している」の割合が 82.3%と多く、「加入していない」の割合は 17.7%と少数です。P T Aに加入している理由としては、「子どものためになると思うから」が 44.0%と最も多く、次いで「加入しないといけないと思ったから」が 39.5%、「断る理由もなかったから」が 26.4%となっています。その他には「会費のみ払いたい」「未加入の方法が分からない」などの意見が挙げられています。
- 入会方法としては、「入学説明会や入学式での活動紹介後、紙面で入会を申し込む」が 73.9%と最も多く、「加入の可否を確認されていない」という意見の方も 19.3%います。
- 役員経験については、「役員経験がない」の割合が 57.0%と最も多く、「その他の役員経験をした」人が 36.2%と比較的多いものの、「会長または副会長経験」は 6.7%と少数となっています。役員になる方法では、「立候補」が 37.9%と最も多く、「くじ引き」が 23.3%、「個人でお願いされる」が 23.0%となっています。
- 役員になった理由では、「子どものためになると思ったから」が 39.6%と最も多く、「投票やくじの結果仕方なく」が 32.5%、「学校の役に立つと思ったから」が 20.4%となっています。その他、「他の対象者が引き受けられずやむを得ず担当する」「心配事を解決するために立候補する」などの意見もみられます。
- 役員を経験して感じることにについては、「保護者同士のネットワークが広がる」が 43.4%、「学校理解や教職員との交流が深まる」が 40.5%と前向きな意見が多い一方で、「時間調整に苦労する」や「従来のやり方に対する学校の姿勢で苦労する」などの負担や不満を挙げる声もあります。
- P T Aに加入していない理由としては、「時間がない」が 51.7%と最も多く、「大変そう」が 33.2%、「メリットを感じない」が 20.0%となっています。その他では「活動の意義を感じない」などの理由が挙げられています。

問2－1 あなたはP T Aに加入していますか。

「加入している」の割合が 82.3%、「加入していない」の割合が 17.7%となっています。

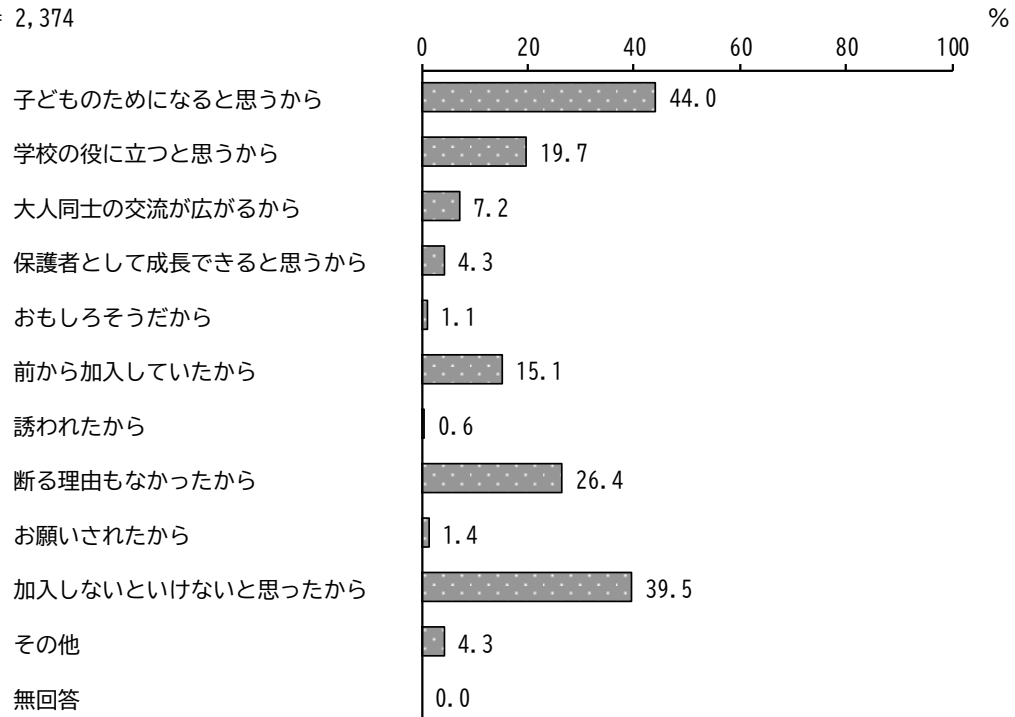


【加入している】

問2－2 加入している理由についてあてはまるものを選んでください。(複数選択)

「子どものためになると思うから」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「加入しないといけないと思ったから」の割合が 39.5%、「断る理由もなかったから」の割合が 26.4%となっています。

回答者数 = 2,374

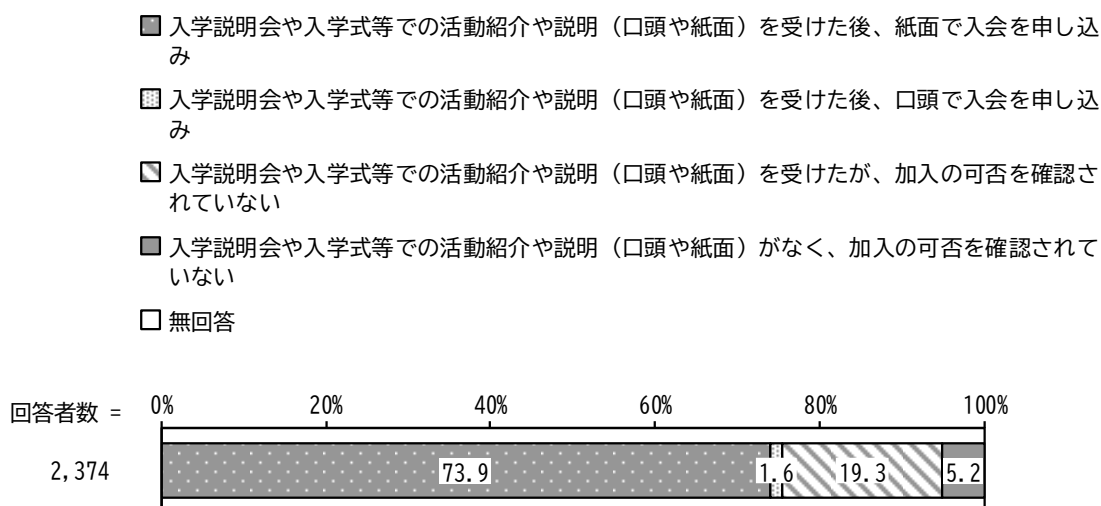


【主なその他意見】

- 加入はしたくないが、活動のための会費は払いたいから。
- 当然のような感じで入る流れだったから。
- 加入したくなかったが不参加のやり方が分からなかった。ほぼ強制のように感じた。加入は簡単にできて未加入も手続きしないといけないのが面倒だと思った。

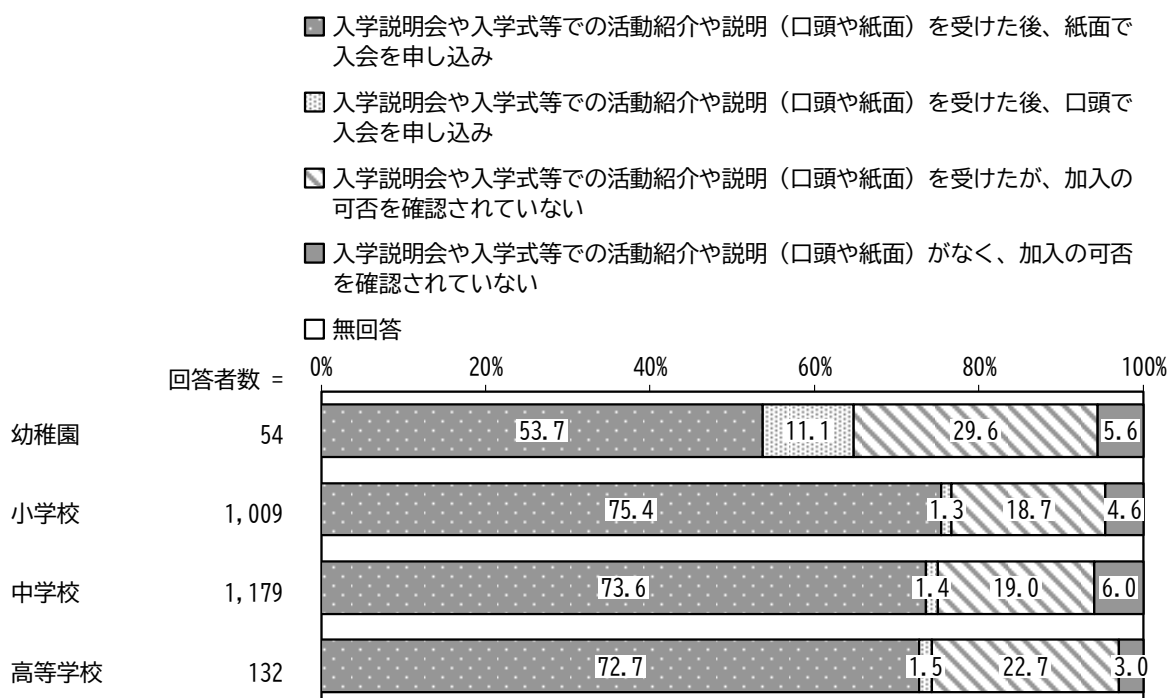
問２－３ 入会方法であてはまるものを選んでください。

「入学説明会や入学式等での活動紹介や説明（口頭や紙面）を受けた後、紙面で入会を申し込み」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「入学説明会や入学式等での活動紹介や説明（口頭や紙面）を受けたが、加入の可否を確認されていない」の割合が 19.3%となっています。



【校種別】

校種別にみると、幼稚園、小学校、中学校、高等学校で「入学説明会や入学式等での活動紹介や説明（口頭や紙面）を受けた後、紙面で入会を申し込み」の割合が高くなっています。



【参考（入会方法）】※複数回答あり

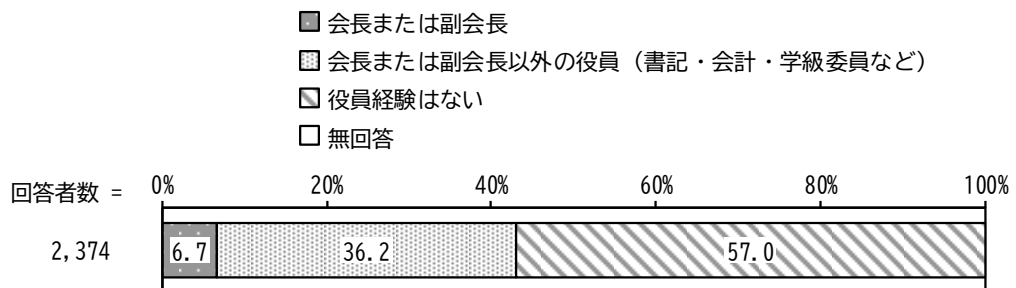
単位：団体

区 分	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	計
加入申込書の提出	70	18	3	2	93
加入の有無の意思確認を保護者全員が提出	56	35	1	3	95
会費引き落としの同意書の提出をもって入会	82	20	0	1	103
加入しない場合のみ意思確認	67	43	4	7	121
特になし	3	4	7	7	21
その他	3	0	0	1	4

出典：令和7年度 名古屋市立小・中・高等学校・幼稚園「PTA団体調査」

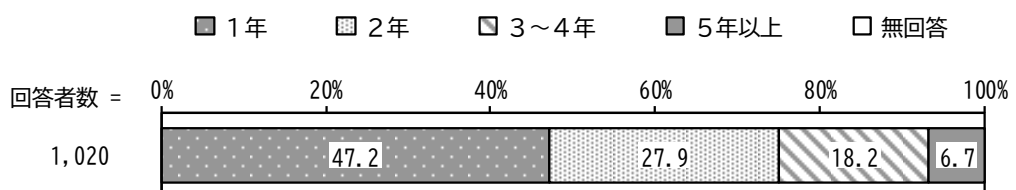
問2-4 あなたのPTA役員等の経験についてあてはまるものを選んでください。

「会長または副会長」の割合が6.7%、「会長または副会長以外の役員（書記・会計・学級委員など）」の割合が36.2%、「役員経験はない」の割合が57.0%となっています。



PTA役員等の経験年数

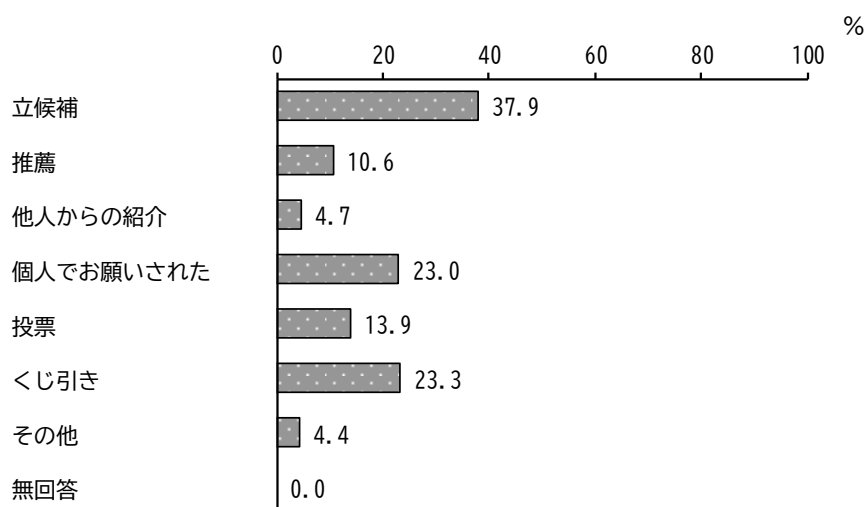
「1年」の割合が47.2%と最も高く、次いで「2年」の割合が27.9%、「3～4年」の割合が18.2%となっています。



問２－５ 役員になった方法であてはまるものを選んでください。

「立候補」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「くじ引き」の割合が 23.3%、「個人でお願いされた」の割合が 23.0%となっています。

回答者数 = 1,020



【主なその他意見】

- 全会員対象の役員への立候補を募るアンケートで、「立候補がない場合は声を掛けてください」に、チェックを入れたら、立候補者がいなかったようで、後日役員より直接就任依頼があった。
- 他に候補がいなければ引き受けると回答し、選出された。
- 一覧表があり、順番に委員になった。

【参考（役員の選出方法）】※複数回答あり

単位：団体

区 分	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	計
話し合い	122	62	10	19	213
投票	18	5	1	0	24
くじ引き	30	7	0	3	40
立候補	188	68	7	19	282
推薦等	77	36	2	1	116
選出なし	1	0	0	0	1
その他	10	2	0	0	12

出典：令和7年度 名古屋市立小・中・高等学校・幼稚園「PTA団体調査」

【校種別】

校種別にみると、幼稚園、小学校、中学校で「立候補」の割合が高くなっています。また、高等学校で『くじ引き』の割合が高くなっています。

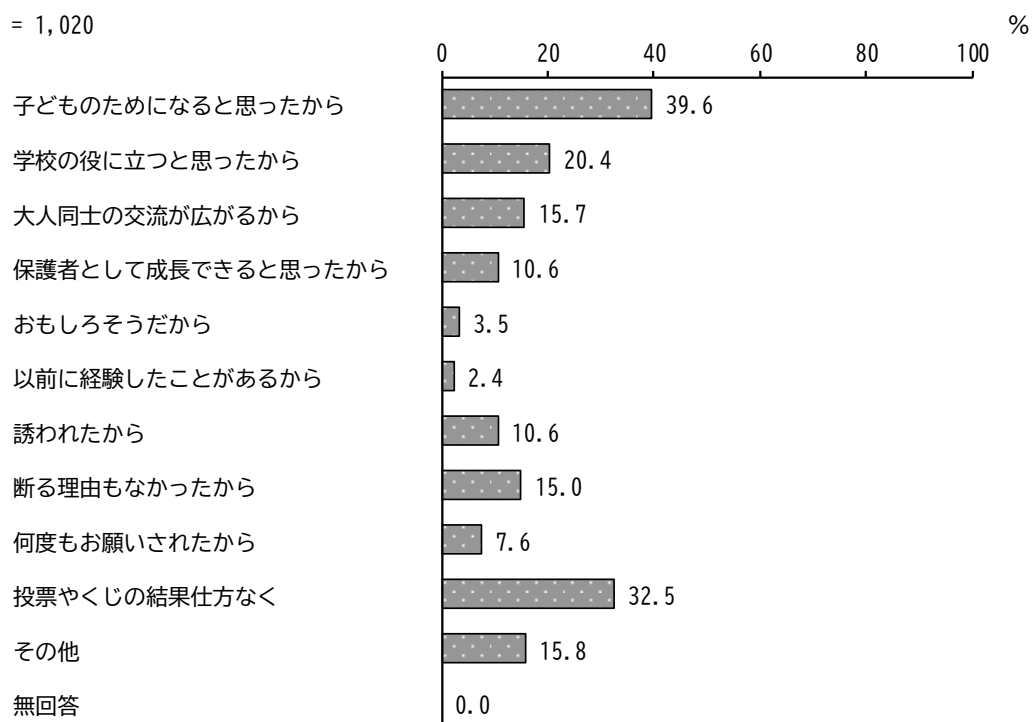
単位：％

区分	回答者数 (件)	立候補	推薦	他人からの紹介	た個人で お願いされ	投票	くじ引き	その他	無回答
全 体	1,020	37.9	10.6	4.7	23.0	13.9	23.3	4.4	0.0
幼稚園	32	81.3	0.0	3.1	6.3	0.0	9.4	6.3	0.0
小学校	374	44.1	9.4	1.9	19.0	12.6	22.7	3.2	0.0
中学校	534	32.6	11.6	6.2	26.8	15.0	22.8	4.9	0.0
高等学校	80	27.5	13.8	8.8	23.8	18.8	35.0	6.3	0.0

問２－６ 役員になった理由であてはまるものを選んでください。（複数選択）

「子どものためになると思ったから」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「投票やくじの結果仕方なく」の割合が 32.5%、「学校の役に立つと思ったから」の割合が 20.4%となっています。

回答者数 = 1,020



【主なその他意見】

- どこかの学年でやらなければいけないと聞いたから。
- 結果、子どもや自分のためになりましたが、引き受けた当時は未就園児がいて免除対象でしたが、他の対象者が引き受けられず仕方なくお引き受けしました。
- 子どもに食物アレルギーがあり心配事が多く、活動内容をより理解できると思い、小1のときに立候補しました。

【PTAの入会方法別】

PTAの入会方法別にみると、『入学説明会や入学式等での活動紹介や説明（口頭や紙面）を受けた後、口頭で入会を申し込み』で「子どものためになると思ったから」「学校の役に立つと思ったから」「大人同士の交流が広がるから」、『入学説明会や入学式等での活動紹介や説明（口頭や紙面）がなく、加入の可否を確認されていない』で「投票やくじの結果仕方なく」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どものためになる と思ったから	学校の役に立つと思 ったから	大人同士の交流が広 がるから	保護者として成長で きると思ったから	おもしろそうだから	以前に経験したこと があるから	誘われたから	断る理由もなかった から	何度もお願ひされた から	投票やくじの結果仕 方なく	その他	無回答
全 体	1,020	39.6	20.4	15.7	10.6	3.5	2.4	10.6	15.0	7.6	32.5	15.8	0.0
入学説明会や入学式等での活動紹介 や説明（口頭や紙面）を受けた後、 紙面で入会を申し込み	725	42.3	21.9	17.5	11.3	3.4	2.6	10.5	15.4	7.9	31.2	14.1	0.0
入学説明会や入学式等での活動紹介 や説明（口頭や紙面）を受けた後、 口頭で入会を申し込み	23	78.3	30.4	26.1	13.0	4.3	4.3	17.4	13.0	4.3	8.7	13.0	0.0
入学説明会や入学式等での活動紹介 や説明（口頭や紙面）を受けたが、 加入の可否を確認されていない	219	29.7	15.5	11.4	9.6	4.1	0.9	11.0	15.5	7.8	36.1	21.0	0.0
入学説明会や入学式等での活動紹介 や説明（口頭や紙面）がなく、加入 の可否を確認されていない	53	26.4	15.1	3.8	3.8	1.9	3.8	7.5	7.5	5.7	45.3	18.9	0.0

【校種別】

校種別にみると、『幼稚園』で「子どものためになると思ったから」「学校の役に立つと思ったから」「大人同士の交流が広がるから」「保護者として成長できるといったから」「おもしろそうだから」の割合が高くなっています。

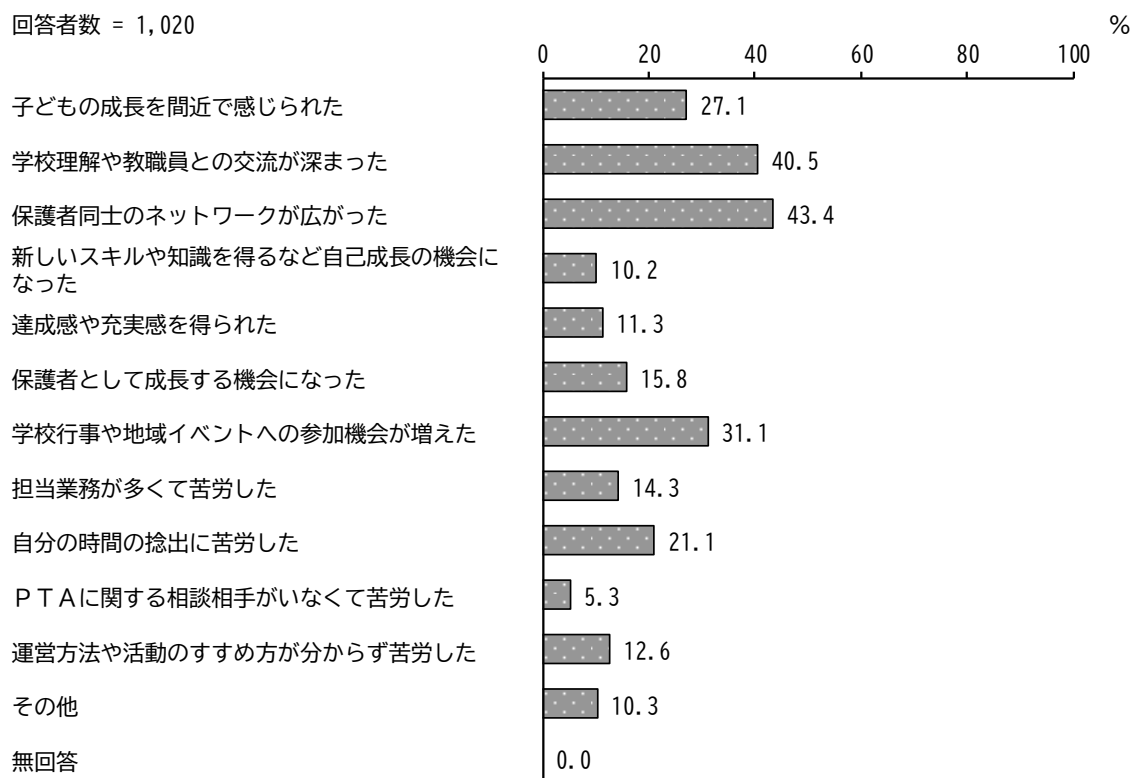
単位：％

区分	回答者数（件）	子どものためになる と思ったから	学校の役に立つと思 ったから	大人同士の交流が広 がるから	保護者として成長で きると思ったから	おもしろそうだから	以前に経験したこと があるから	誘われたから	断る理由もなかった から	何度もお願ひされた から	投票やくじの結果仕 方なく	その他	無回答
全 体	1,020	39.6	20.4	15.7	10.6	3.5	2.4	10.6	15.0	7.6	32.5	15.8	0.0
幼稚園	32	65.6	31.3	40.6	34.4	15.6	6.3	6.3	15.6	0.0	0.0	21.9	0.0
小学校	374	37.2	15.2	13.4	8.6	3.2	1.6	9.9	13.1	6.4	32.4	19.0	0.0
中学校	534	40.3	22.3	15.9	10.7	3.2	2.6	10.5	15.7	9.4	33.9	13.9	0.0
高等学校	80	36.3	27.5	15.0	10.0	2.5	2.5	16.3	18.8	5.0	36.3	11.3	0.0

問２－７ 役員を経験して感じたことであてはまるものを選んでください。（複数選択）

「保護者同士のネットワークが広がった」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「学校理解や教職員との交流が深まった」の割合が 40.5%、「学校行事や地域イベントへの参加機会が増えた」の割合が 31.1%となっています。

回答者数 = 1,020



【主なその他意見】

- 仕事との時間調整に苦勞した。
- 次期役員の選出に本当に苦勞した。
- 意見をいっても従来のやり方を重視する学校側の考えが変わらなくて苦勞した。
- 必要性のわからない活動が多いと感じた。
- 今の時代にそぐわないことが多い。

【役員経験別】

役員経験別にみると、『会長または副会長』で「子どもの成長を間近で感じられた」「学校理解や教職員との交流が深まった」「保護者同士のネットワークが広がった」「新しいスキルや知識を得るなど自己成長の機会になった」「達成感や充実感を得られた」「保護者として成長する機会になった」「学校行事や地域イベントへの参加機会が増えた」「担当業務が多くて苦労した」「自分の時間の捻出に苦労した」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どもの成長を間近で感じられた	学校理解や教職員との交流が深まった	保護者同士のネットワークが広がった	新しいスキルや知識を得るなど自己成長の機会になった	達成感や充実感を得られた	保護者として成長する機会になった
全 体	1,020	27.1	40.5	43.4	10.2	11.3	15.8
会長または副会長	160	49.4	75.0	68.1	31.9	34.4	38.8
会長または副会長以外の役員（書記・会計・学級委員など）	860	22.9	34.1	38.8	6.2	7.0	11.5
役員経験はない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

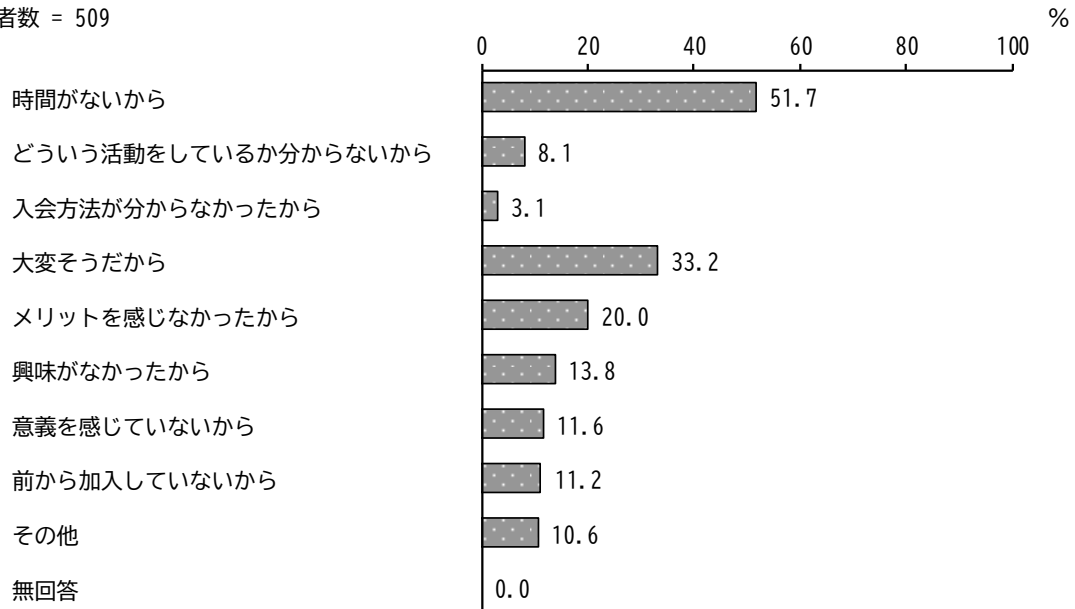
区分	学校行事や地域イベントへの参加機会が増えた	担当業務が多くて苦労した	自分の時間の捻出に苦労した	P T Aに関する相談相手がいなくて苦労した	運営方法や活動のすすめ方が分からず苦労した	その他	無回答
全 体	31.1	14.3	21.1	5.3	12.6	10.3	0.0
会長または副会長	51.3	20.0	25.6	6.3	15.6	4.4	0.0
会長または副会長以外の役員（書記・会計・学級委員など）	27.3	13.3	20.2	5.1	12.1	11.4	0.0
役員経験はない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【加入していない】

問2－8 加入していない理由についてあてはまるものを選んでください。(複数選択)

「時間がないから」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「大変そうだから」の割合が 33.2%、「メリットを感じなかったから」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 509



【主なその他意見】

- 6人の子育てをしてきましたが、上5人はPTAに協力してきました。昨今、PTA活動でメディアでも騒がれていたこともあり、最後の子は加入をやめました。(任意であることも初めて知ったので)
- とても意義のあることもあるが、全く意義のないことが多いと感じたから。
- 兄の時に役員をやったが、任意なら役員をやりたくないの加入しない。

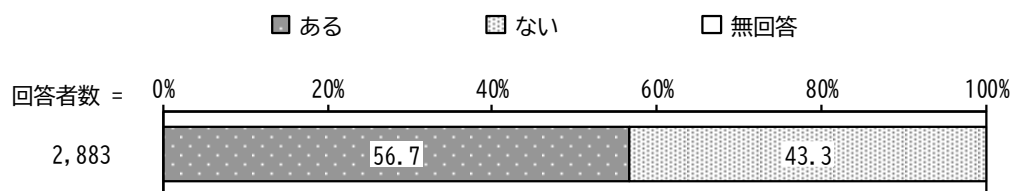
3 P T A活動の参加状況について

【調査結果概要】

- P T Aの活動参加状況では、「ある」が 56.7%、「ない」が 43.3%となっています。アルバイト・パートでは「参加した」という割合が高く、会社員・公務員では「参加していない」という割合が高い傾向があります。P T Aの加入理由別では、「大人同士の交流が広がる」「保護者として成長できると思う」「おもしろそうだから」との理由で「参加した」という割合が高い結果となっています。
- 参加した活動では、「旗当番などの通学時間帯等の見守り・パトロール活動」が 73.6%と最も多く、次いで「家庭教育セミナーなどの研修会」が 43.3%、「運動会や文化祭等、学校行事の受付などの学校支援活動」が 41.7%となっています。その他には「ダンボール回収」や「広報誌作成」なども挙げられています。
- 「旗当番などの通学時間帯等の見守り・パトロール活動」では「子どものためになった」が 70.4%と最多で、「学校の役に立った」「地域とのつながりが生まれた」と続いています。一方で「朝の時間捻出が大変」「働く親には負担が大きい」との意見もあります。
- 「運動会や文化祭等、学校行事の受付などの学校支援活動」では「学校の役に立った」「子どものためになった」「楽しかった」が主な感想となっています。人手不足で参加したなどの声もありました。
- 「情報交換会やP T Aバレーボール、P T AカフェなどのP T Aの交流活動」では「保護者同士のネットワークの形成につながった」が 57.6%と多く、「楽しかった」が続きますが、負担を感じたとの意見もみられています。
- 「地域の大人とも交流できる活動」では「地域とのつながりが生まれた」が最も多い一方で、必要性や活動内容への疑問を抱く声もありました。
- 「家庭教育セミナーなどの研修会」では「成長する機会になった」が最多で、「楽しかった」と続いています。一部では参加が難しいとの声がみられます。
- 「合同情報交換会や父母と教職員の会などの外部の会議」では「成長できた」「楽しかった」という意見がある一方で、意義に疑問を感じる方もいる状況です。
- 「P T Aバレーボール大会やP T Aの研修会等の準備・運営補助」では「保護者同士のネットワーク形成」「楽しい経験」という意見がある一方で、負担を感じる方もいます。
- 「子どものための活動の企画・運営」では「子どものためになった」が最多で、「楽しかった」と続いています。一方、「イベントそのものがなくても子どもの成長に影響しないのでは」という意見もあります。
- 活動に参加しなかった理由では、「時間がなかった」が 54.7%と最も多く、「大変そう」「メリットを感じない」という意見もみられます。また仕事との兼ね合いや情報の欠如が理由という意見もあります。

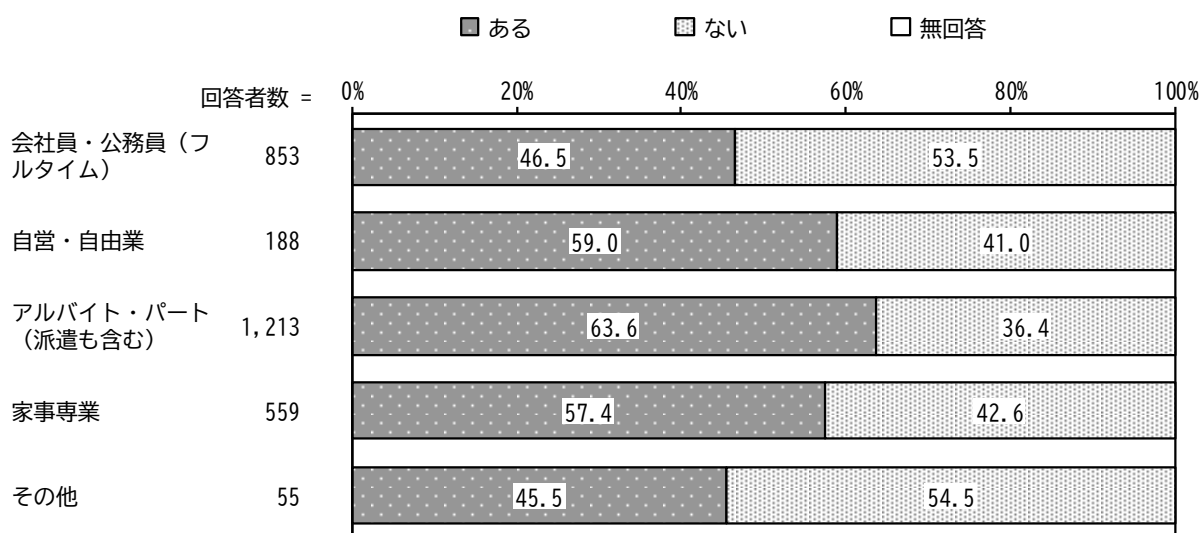
問３－１ あなたは今までにＰＴＡの活動（イベントや行事、バザーなど）に参加したことはありますか。

「ある」の割合が 56.7%、「ない」の割合が 43.3%となっています。



【就労形態別】

就労形態別にみると、アルバイト・パート（派遣も含む）で「ある」の割合が、会社員・公務員（フルタイム）で「ない」の割合が高くなっています。

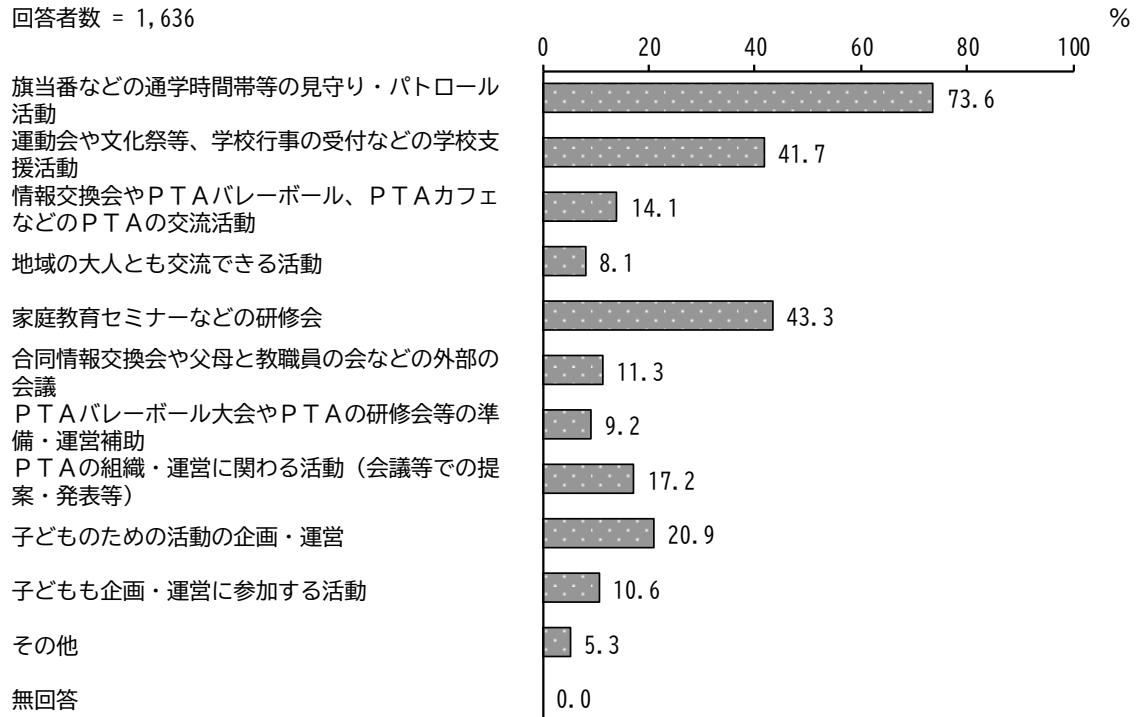


【活動参加経験がある人】

問３－２ あなたが参加したことのあるＰＴＡ活動を選んでください。（○はいくつでも）

「旗当番などの通学時間帯等の見守り・パトロール活動」の割合が 73.6%と最も高く、次いで「家庭教育セミナーなどの研修会」の割合が 43.3%、「運動会や文化祭等、学校行事の受付などの学校支援活動」の割合が 41.7%となっています。

回答者数 = 1,636



【主なその他意見】

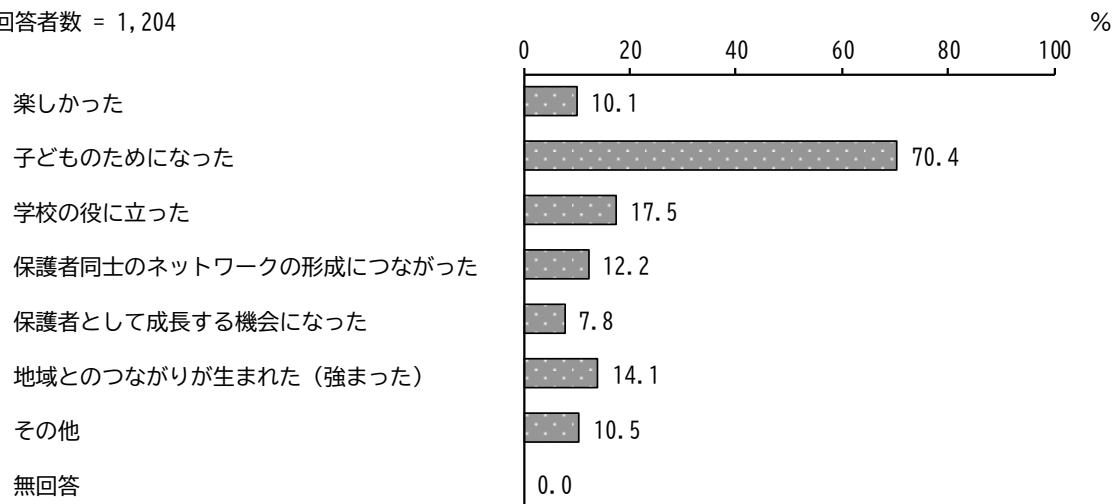
- ダンボール回収
- 広報誌作成
- 廃品回収の手伝い
- ベルマーク回収や資源回収
- PTA新聞の作成、リサイクル活動

問3－3 前問で選択された活動に参加して感じたことは、どのようなことですか。
(複数選択)

1. 旗当番などの通学時間帯等の見守り・パトロール活動

「子どものためになった」の割合が70.4%と最も高く、次いで「学校の役に立った」の割合が17.5%、「地域とのつながりが生まれた（強まった）」の割合が14.1%となっています。

回答者数 = 1,204

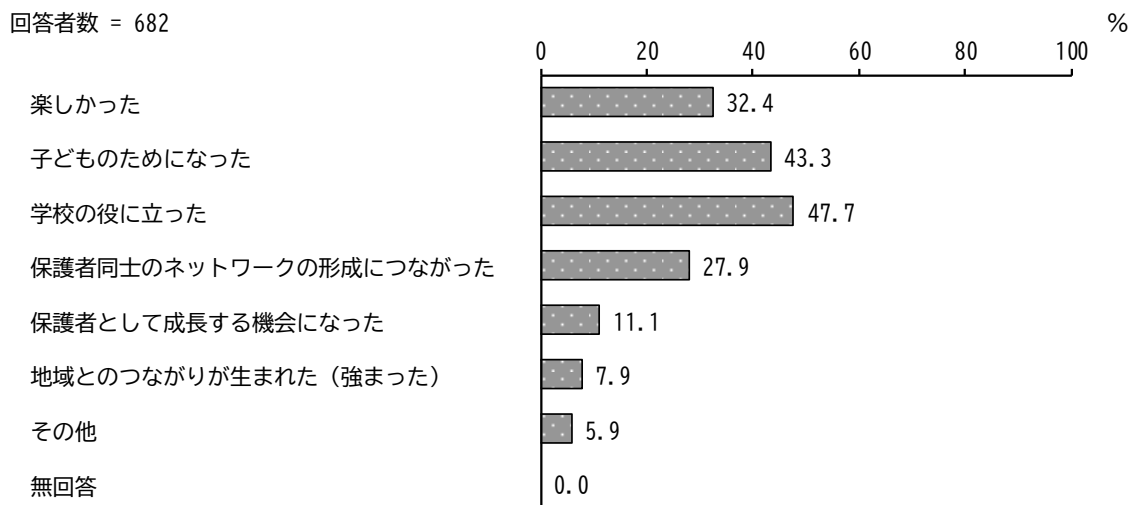


【主なその他意見】

- 自分の目で危険な箇所や我が子以外の子どもの様子を知ったりすることができてよかった。
- 朝の時間の捻出が大変だった。長期休みのパトロールがあり、予定が重なると交代してもらわなくてはならなかった。
- 一旦停止をしない車の多さ。地域の危険地帯の把握。
- フルタイムで働いてる親としては参加が大変。

2. 運動会や文化祭等、学校行事の受付などの学校支援活動

「学校の役に立った」の割合が47.7%と最も高く、次いで「子どものためになった」の割合が43.3%、「楽しかった」の割合が32.4%となっています。

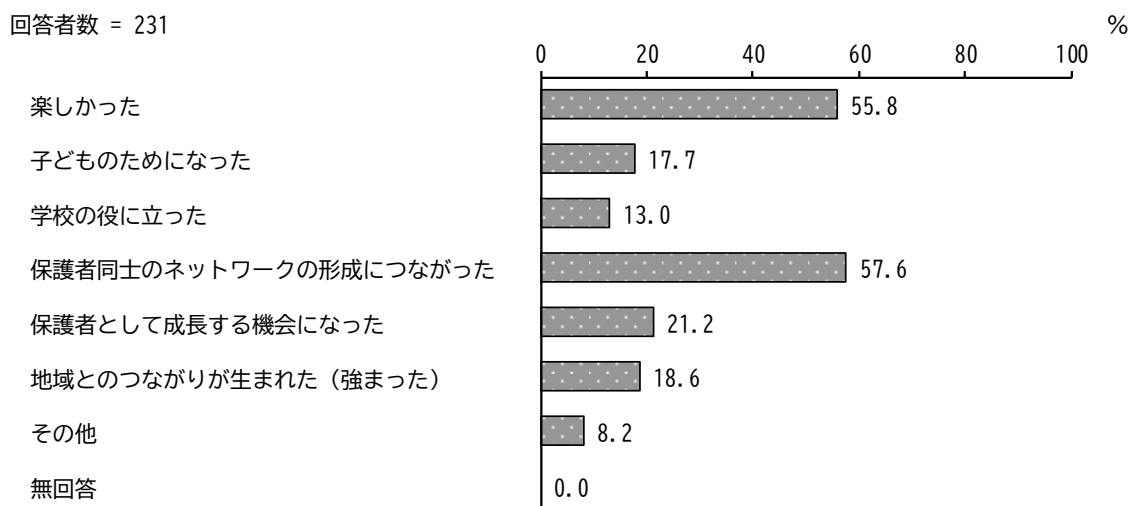


【主なその他意見】

- 上のどれにも当てはまらない。人がいなかったので参加した。
- いろいろなことを知る機会となった。

3. 情報交換会やPTAバレーボール、PTAカフェなどのPTAの交流活動

「保護者同士のネットワークの形成につながった」の割合が57.6%と最も高く、次いで「楽しかった」の割合が55.8%、「保護者として成長する機会になった」の割合が21.2%となっています。



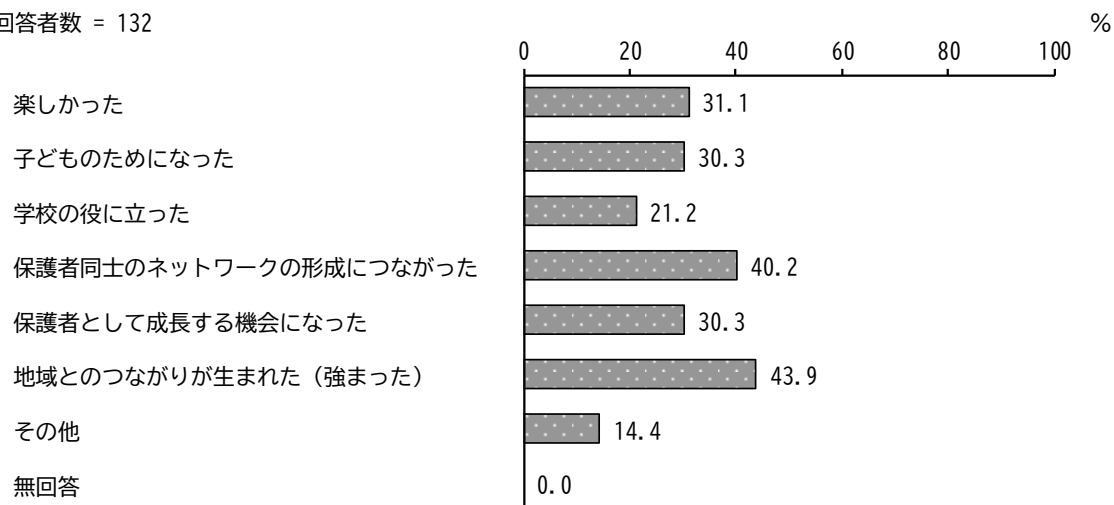
【主なその他意見】

- 時間の都合をつけるのが負担だった。
- 面倒だと思った。
- バレーボール活動にPTAを巻き込むのは本当にやめてほしい。苦痛でしかないし、もっとほかに補助金をほしいところがあるはず。

4. 地域の大人とも交流できる活動

「地域とのつながりが生まれた（強まった）」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「保護者同士のネットワークの形成につながった」の割合が 40.2%、「楽しかった」の割合が 31.1%となっています。

回答者数 = 132



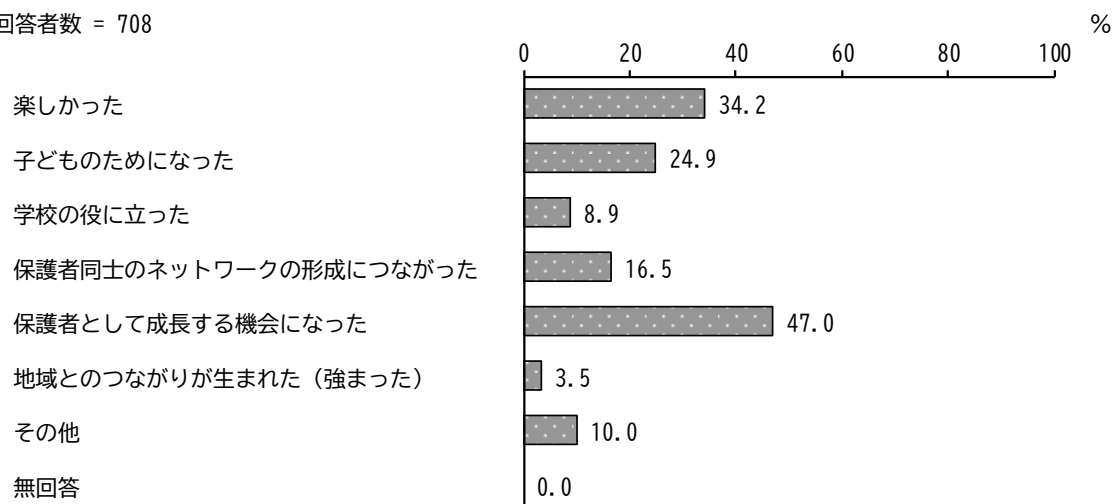
【主なその他意見】

- 参加者が毎回同じ顔ぶれで必要性を感じない。
- 地域の方との交流は、なかなか大変でした。PTAを頼られすぎてる感じを受けたこともありました。
- 学区内パトロールや広報と必要な活動もあると思うが、果たしてこのセミナーは必要なのか？と思う活動もあったのは事実だと思う。

5. 家庭教育セミナーなどの研修会

「保護者として成長する機会になった」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「楽しかった」の割合が 34.2%、「子どものためになった」の割合が 24.9%となっています。

回答者数 = 708



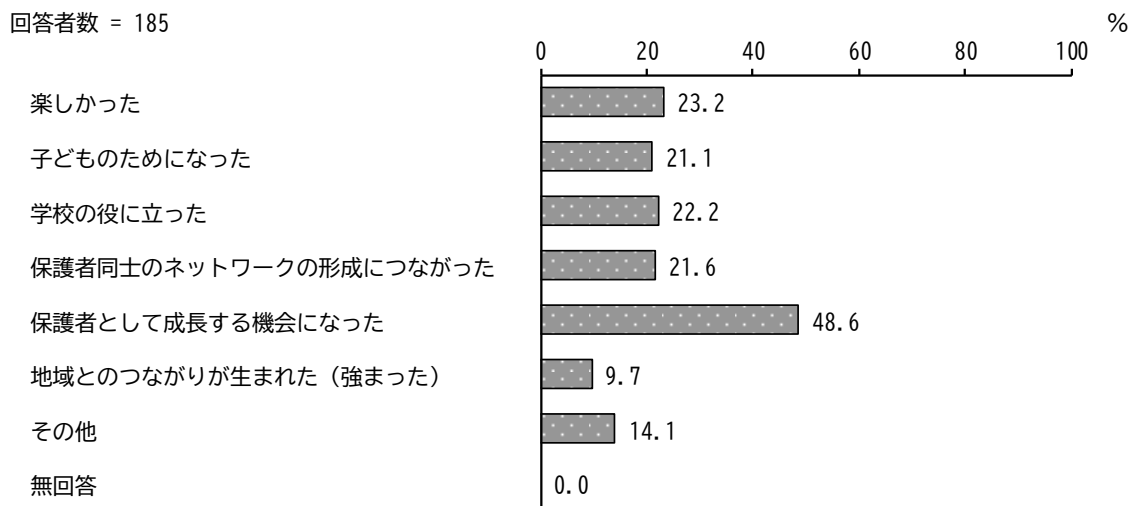
【主なその他意見】

- 他の学校の活動内容があり参考になりました。
- 普段参加しないような内容のものを経験できた。

- 年々保護者の就業率が上がり、参加がむずかしくなっています。参加者が少ないので毎回来てほしいと言われて義務として参加しています。普段から教育には関心があり、セミナーで聞く内容は把握しています。参加されている方々の大半はそうではないかと思われます。ご存じない方々の参加率は少ないように見受けられます。

6. 合同情報交換会や父母と教職員の会などの外部の会議

「保護者として成長する機会になった」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「楽しかった」の割合が 23.2%、「学校の役に立った」の割合が 22.2%となっています。



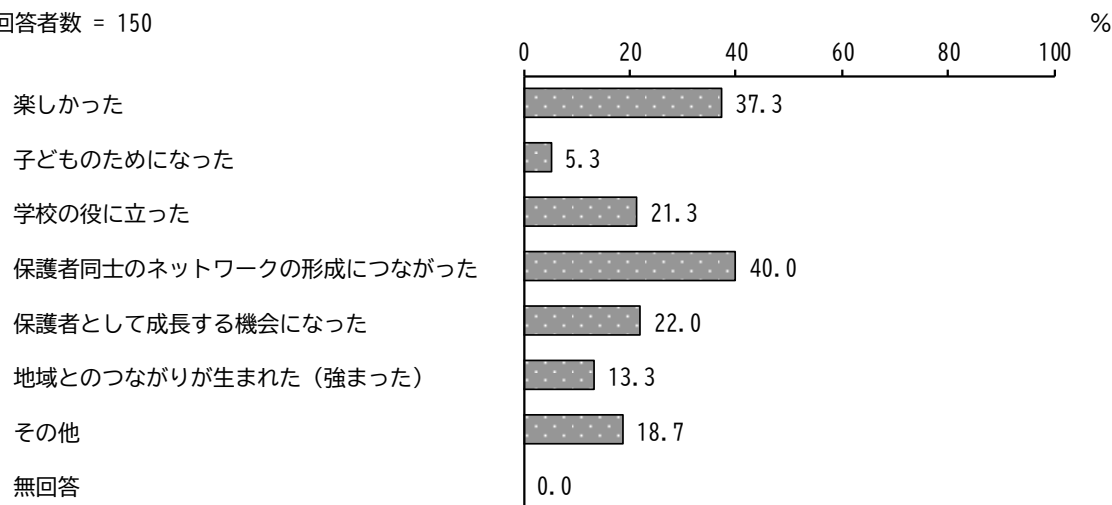
【主なその他意見】

- 数回参加していますが、世間でよく言われている内容ばかりのため意義を感じられません。
- 時間の都合をつけるのが負担だった。
- リモートで済むものも会場を借りたり足を運んだり費用も時間も無駄を感じた。本当に子どものためを思うなら役員以外も動画をみられたり、リモートで参加を促すべき。こういう場に来る教育委員会等の職員の方も最初だけいるだけで参加している保護者の意見の時にはおらず声も上げても反映されていないように感じる。結局上層部の運営している人達が表向きには子どものためと言いながら無駄に費用がかさんでいるだけに感じる。会場を借りる予算があればもっと子どもたちに還元して欲しい。

7. PTAバレーボール大会やPTAの研修会等の準備・運営補助

「保護者同士のネットワークの形成につながった」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「楽しかった」の割合が 37.3%、「保護者として成長する機会になった」の割合が 22.0%となっています。

回答者数 = 150



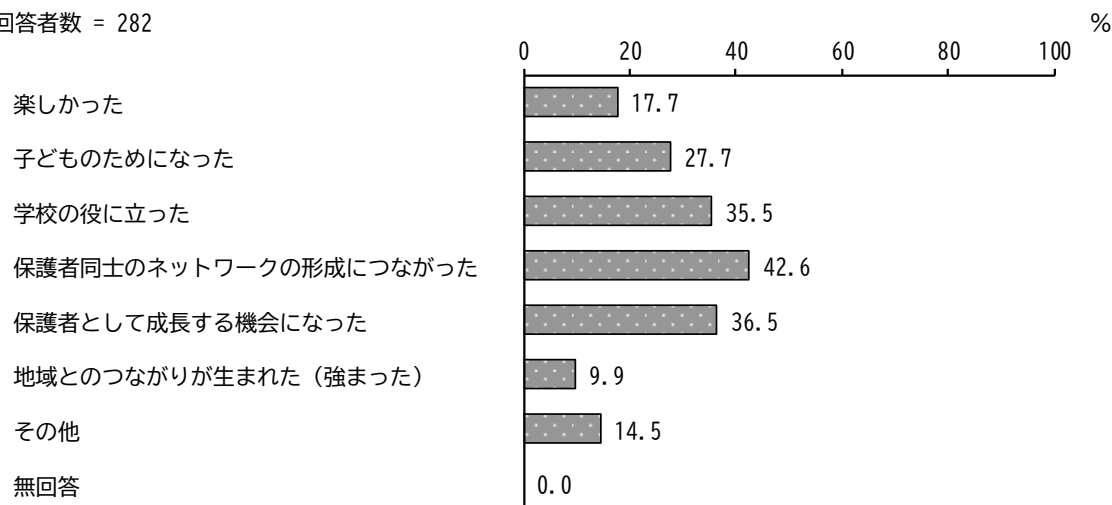
【主なその他意見】

- 下の小さい子どもを連れての活動は大変でした。
- 学校と子どもたちのためにと思い役員を引き受けましたが、実際は区や地域などの学校外での活動も多く、バレーボール大会などの手伝いは子どもを家に置いて参加しないといけなかったもので、一体何のために活動しているのか分からなくなったことも多々ありました。第一優先は家庭や子どものことだと思うので、バレーボール大会などの運営は、参加する選手などで役割を分担して行えばいいのではないかと思います。
- バレー部がない学校だったので、勝手がわからず、難しいと感じた。コロナ禍明けで、よくわからないまま終わった。
- 自分の知らないことを経験できました。
- バレーの運営を仕事として課せられたが、必要であったとは全く思わない。自分の子どもを自宅に留守番させて行うものであったのか疑問。

8. PTAの組織・運営に関わる活動（会議等での提案・発表等）

「保護者同士のネットワークの形成につながった」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「保護者として成長する機会になった」の割合が 36.5%、「学校の役に立った」の割合が 35.5%となっています。

回答者数 = 282



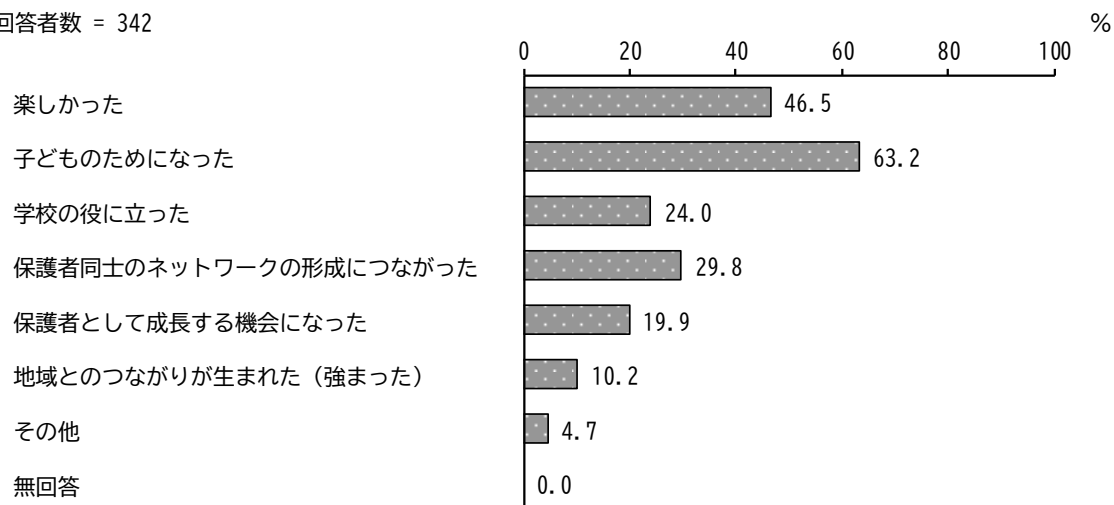
【主なその他意見】

- 仕事との両立が大変だった。
- 共働き世代の保護者に少しでも負担軽減してもらいたい一心であった。
- なにもしない人がいる一方、様々な活動に協力的な方もいます。協力的な方は常に頼られて不公平な気持ちになることもありました。子どものためにできることをしたいという思いでいますが悩ましいですね。
- 本部役員を経験したが、何度もお願いされて、仕事も配慮すると言われて引き受けた。保護者同士のつながりは増えたが、仕事との両立がむずかしく、有給を使い切ってしまう、会社に説明して欠勤扱いにしてもらった。フルタイムで働いてる世帯が今後も増えると思うので、柔軟に活動して欲しかった。
- あまりよくない言い方ですが、活動を通して大きな価値を生み出せたようには感じませんでした。存続する意味があるのであれば存続すべきですし、存続する意味がないなら、なくなってもよいものだと思います。
- 仕事を休まなければならず大変だった。

9. 子どものための活動の企画・運営

「子どものためになった」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「楽しかった」の割合が 46.5%、「保護者同士のネットワークの形成につながった」の割合が 29.8%となっています。

回答者数 = 342



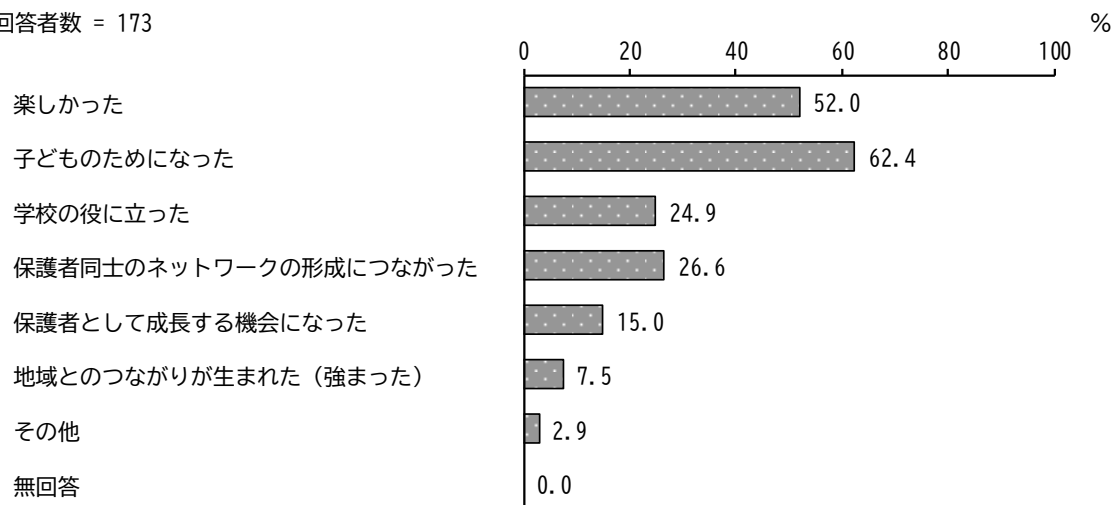
【主なその他意見】

- 足型マークは、自治体がやってほしいと思った。
- 子どものためになることも、もちろんあるが、仕事している保護者としては時間を作るのが大変。
- イベントに参加した子どもたちは喜んでいたように感じたが、そのイベント自体は存在しなくても子どもたちの成長には差し支えないものだなと感じました。

10. 子どもも企画・運営に参加する活動

「子どものためになった」の割合が62.4%と最も高く、次いで「楽しかった」の割合が52.0%、「保護者同士のネットワークの形成につながった」の割合が26.6%となっています。

回答者数 = 173



【主なその他意見】

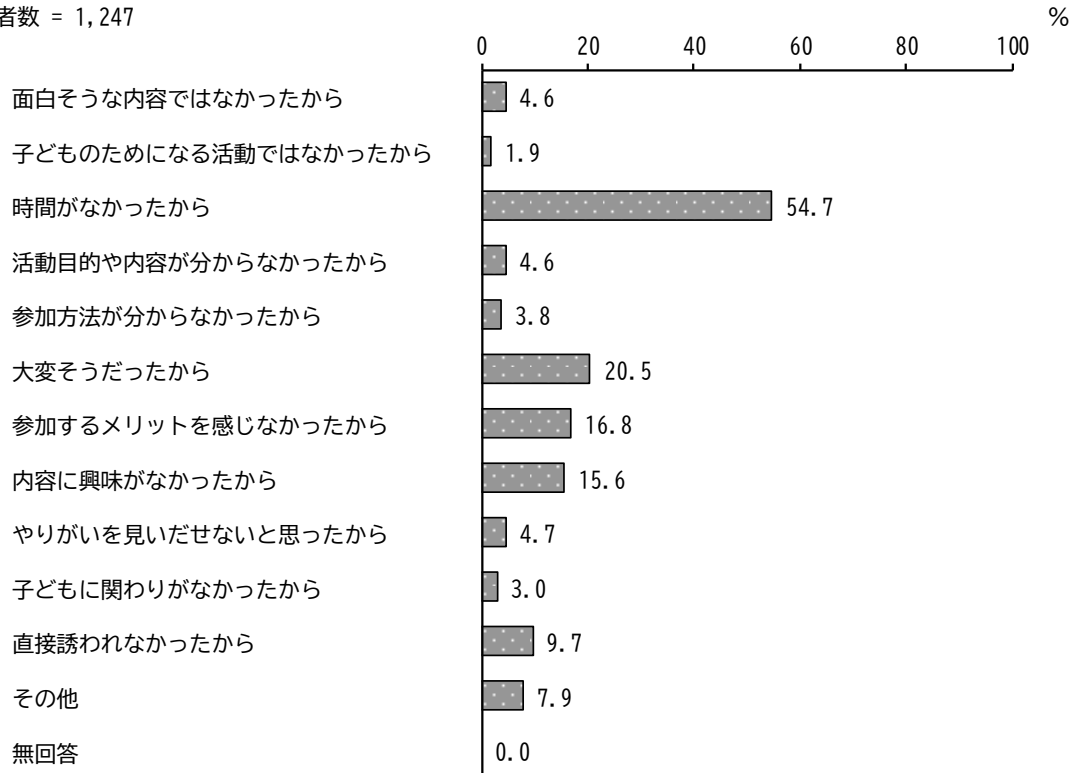
- 子どもにとってPTA活動はあまり伝わらないので継続した方がいいのなら、子どもたちがPTAというのを理解し共感できると親になった時には協力しようと思うのではないのでしょうか。
- 下の子がいるので、おもちゃもあまりない場所のため、何日も参加するのが大変だった。

【活動参加経験がない人】

問3－4 活動に参加しなかった理由であてはまるものを選んでください。(複数選択)

「時間がなかったから」の割合が54.7%と最も高く、次いで「大変そうだったから」の割合が20.5%、「参加するメリットを感じなかったから」の割合が16.8%となっています。

回答者数 = 1,247



【主なその他意見】

- 基本的に平日の日中に開催され、仕事のため参加することができない。参加できる一部の人のための活動だと、疎外感を感じることもある。
- 引越したばかりで活動内容が不明のため。
- 参加するにあたって仕事を休まなくてはいけなかったから。
- そういった活動があるのを知らなかった。

4 今後のPTAについて

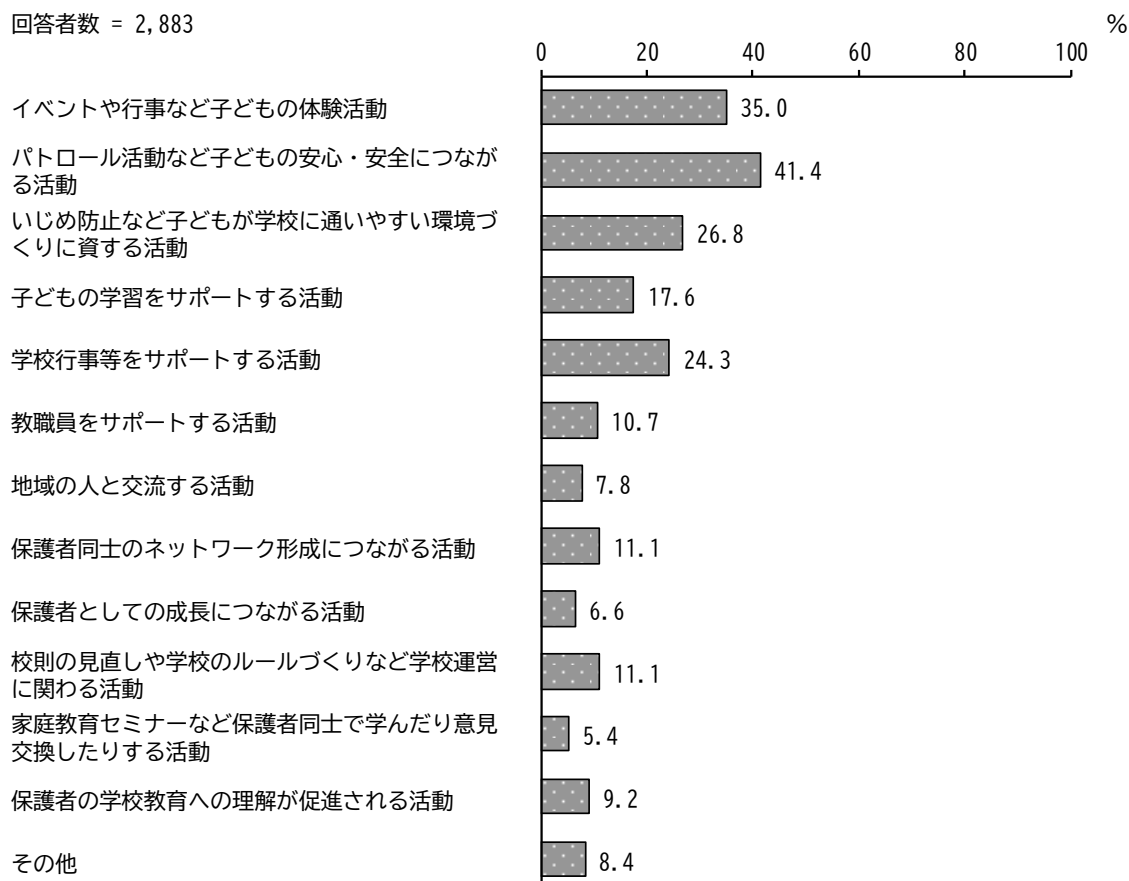
【調査結果概要】

- 今後PTAに期待する活動では、「パトロール活動など子どもの安心・安全につながる活動」が41.4%と最も多く、「イベントや行事など子どもの体験活動」が35.0%、「いじめ防止など子どもの環境づくりに資する活動」が26.8%となっています。その他として「自発的な参加を促す活動」「保護者負担を軽減する活動」「学校での子どもの様子が分かる活動」などが挙げられています。
- 期待するPTA活動に必要な要素として、「子どもの成長を身近に感じる事」が42.8%で最も多く、「参加しやすいこと」が41.6%、「PTAに対する理解が深まること」が16.8%となっています。その他では「活動内容や役員数の見直し」「学校運営へ保護者が関わる場の設置」「従来の活動の見直し」「部活動の金銭支援」「授業参観以外で子どもの様子を知る機会の提供」などの意見が挙げられています。
- 望まれる工夫として「時間や場所に制約を受けない活動方法」が63.7%と最も多く、「気軽に簡単に行うことができる運営方法」が46.6%、「会議や書類の簡略化の工夫」が35.8%となっています。その他では「活動の効率化のための外部委託の活用」などの意見が示されています。

問４－１ 今後ＰＴＡにどのような活動を期待しますか。あてはまるものを選んでください。
(複数選択)

「パトロール活動など子どもの安心・安全につながる活動」の割合が41.4%と最も高く、次いで「イベントや行事など子どもの体験活動」の割合が35.0%、「いじめ防止など子どもが学校に通いやすい環境づくりに資する活動」の割合が26.8%となっています。

回答者数 = 2,883



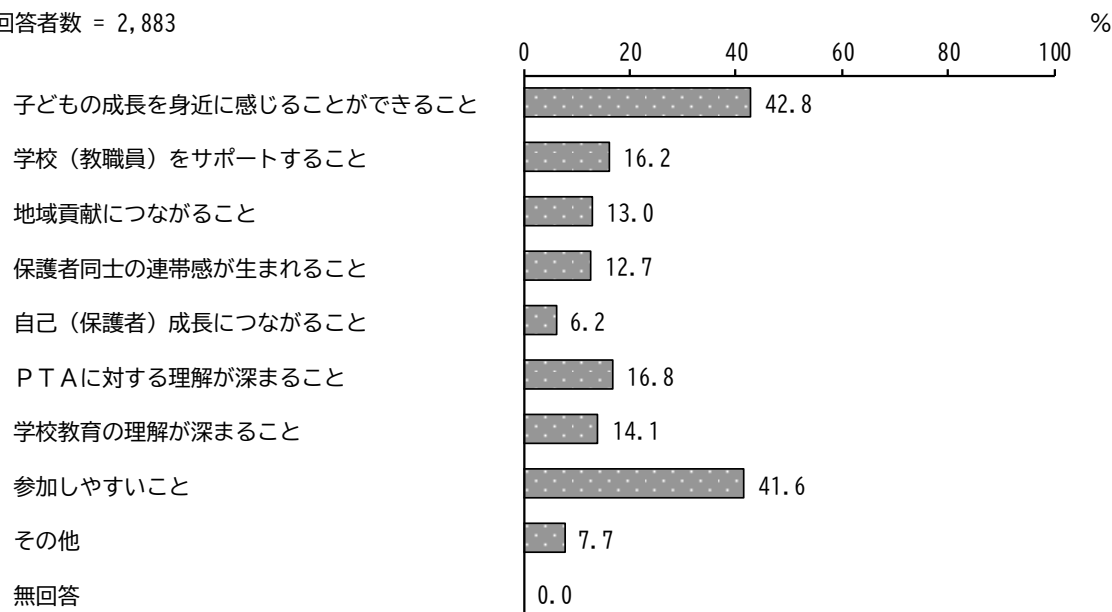
【主なその他意見】

- 無理強いではない自発的に参加する意味のある活動。
- 保護者に仕事を休む必要がなく、負担のない活動。
- 学校での子どもたちの様子を保護者が知れる活動。
- ＰＴＡを廃止し、任意の保護者の活動にすればいい。

問４－２ 期待するＰＴＡ活動になるために、既存の活動にどのような要素を加えるとよいですか。あてはまるものを選んでください。（複数選択）

「子どもの成長を身近に感じることができること」の割合が 42.8%と最も高く、次いで「参加しやすいこと」の割合が 41.6%、「ＰＴＡに対する理解が深まること」の割合が 16.8%となっています。

回答者数 = 2,883



【主なその他意見】

- 共働きも多い中で、必要最小限の意味のある活動や役員数の見直しを希望します。ＰＴＡを設けない学校もある中で、必要となる理由を知りたいです。
- 保護者の思っていることが伝わる場になること。
- 学校のサポート＝教職員さんの人手不足を補う、というのが実情でした。もっと学校運営やルール決めにも関わると良いとおもいます。学校から保護者への一方通行な通達/伝達ではなく、一緒に考え議論して決めていくような形が良いのでは。
- 今の活動は従来から続いている活動をそのまま続けているだけのような気がします。広報や通学路パトロールなど、なくしてもよい業務や人数を減らし、例えば先生の業務を減らすための手伝いをするとか、ＰＴＡに参加させるための仕事でなく、学校運営に役立つ業務にするなら多少意味があると思います。働くママも多いなか、兄弟が多いと参加も大変です。従来通りの業務を漫然と続けるのであれば、廃止したほうがよいと思います。一方で、保護者の交流が深まるような、バレーのようなスポーツや、趣味を広げられるような同好会などを増やして自然と親子で交流が生まれる組織に変えたほうがよいと思います。
- 学校側の理解、協力が必要。
- 部活動を頑張る子どもたちに支援する。例えば顧問となってくださる先生に必要経費、謝礼など金銭面で支援するなど部活動に関わりたい先生に指導をお願いする為の費用を捻出するなど。
- 授業参観以外の普段の様子を知るために、月一回、１クラスにつき１人など、保護者が（４限目から掃除までなど）一緒に参加させてもらう日をつくる。参加した人はレポートを書き、他の保護者と共有できるようにする。ケガでも、学校を嫌がるなどでも、基本的に問題が起きてからしか、親は気づきもしないですが、子どもたちの様子で心配な点を、早期発見する目的や、保護者の学校への理解を深める目的。絶対ではなく、希望参加者のみで実施など。

【役員経験別】

役員経験別にみると、『会長または副会長』で「子どもの成長を身近に感じることができること」「保護者同士の連帯感が生まれること」「自己（保護者）成長につながること」「PTAに対する理解が深まること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どもの成長を身近に感じることができること	学校（教職員）をサポートすること	地域貢献につながることに	保護者同士の連帯感が生まれること	自己（保護者）成長につながること	PTAに対する理解が深まること	学校教育の理解が深まること	参加しやすいこと	その他	無回答
全 体	2,374	42.5	16.8	13.4	13.6	6.3	17.3	15.1	42.3	7.2	0.0
会長または副会長	160	52.5	24.4	22.5	38.1	25.6	49.4	22.5	50.6	5.0	0.0
会長または副会長以外の役員（書記・会計・学級委員など）	860	39.5	16.6	13.5	17.1	5.2	18.4	15.5	47.3	7.9	0.0
役員経験はない	1,354	43.2	16.0	12.3	8.4	4.7	12.9	14.0	38.2	7.1	0.0

【校種別】

校種別にみると、幼稚園、小学校で「子どもの成長を身近に感じることができること」の割合が高くなっています。中学校、高等学校で「参加しやすいこと」の割合が高くなっています。

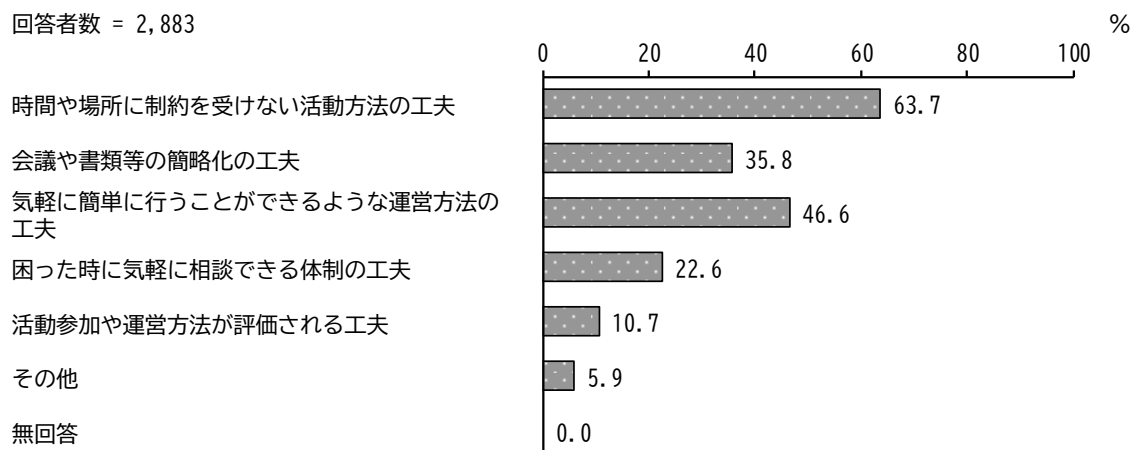
単位：％

区分	回答者数（件）	子どもの成長を身近に感じることができること	学校（教職員）をサポートすること	地域貢献につながることに	保護者同士の連帯感が生まれること	自己（保護者）成長につながること	PTAに対する理解が深まること	学校教育の理解が深まること	参加しやすいこと	その他	無回答
全 体	2,883	42.8	16.2	13.0	12.7	6.2	16.8	14.1	41.6	7.7	0.0
幼稚園	94	59.6	17.0	10.6	18.1	17.0	17.0	19.1	45.7	6.4	0.0
小学校	1,280	45.6	16.2	13.4	12.1	5.8	15.3	12.7	39.3	8.3	0.0
中学校	1,358	39.2	16.0	12.8	12.6	6.2	17.7	14.6	42.9	7.7	0.0
高等学校	151	41.1	18.5	11.9	14.6	3.3	20.5	17.9	46.4	2.6	0.0

問4－3 そのために、どのような工夫が望めますか。あてはまるものを選んでください。
(複数選択)

「時間や場所に制約を受けない活動方法の工夫」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「気軽に簡単に行うことができるような運営方法の工夫」の割合が 46.6%、「会議や書類等の簡略化の工夫」の割合が 35.8%となっています。

回答者数 = 2,883



【主なその他意見】

- 内容のある活動にするためには効率的に活動する必要があるので、一部か全部を外部委託することもよいのでは？

【校種別】

校種別にみると、幼稚園、小学校、中学校、高等学校で「時間や場所に制約を受けない活動方法の工夫」の割合が高くなっています。また、「気軽に簡単に行うことができるような運営方法の工夫」の割合も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	時間や場所に制約を受けない活動方法の工夫	会議や書類等の簡略化の工夫	気軽に簡単に行うことができるような運営方法の工夫	困った時に気軽に相談できる体制の工夫	活動参加や運営方法が評価される工夫	その他	無回答
全 体	2,883	63.7	35.8	46.6	22.6	10.7	5.9	0.0
幼稚園	94	61.7	44.7	51.1	40.4	13.8	5.3	0.0
小学校	1,280	65.3	36.2	45.2	21.8	10.0	6.3	0.0
中学校	1,358	62.1	35.1	46.8	22.8	11.0	6.0	0.0
高等学校	151	66.2	33.1	53.6	16.6	11.9	2.0	0.0

【役員経験別】

役員経験別にみると、『会長または副会長』で「会議や書類等の簡略化の工夫」「気軽に簡単に行うことができるような運営方法の工夫」「困った時に気軽に相談できる体制の工夫」「活動参加や運営方法が評価される工夫」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	時間や場所に制約 を受けない活動方 法の工夫	会議や書類等の簡 略化の工夫	気軽に簡単に行う ことができるよう な運営方法の工夫	困った時に気軽に 相談できる体制の 工夫	活動参加や運営方 法が評価される工 夫	その他	無回 答
全 体	2,883	63.7	35.8	46.6	22.6	10.7	5.9	0.0
会長または副会長	160	72.5	60.0	65.6	38.8	21.3	3.1	0.0
会長または副会長以外の役員 (書記・会計・学級委員など)	860	64.8	41.3	50.1	24.2	13.8	7.1	0.0
役員経験はない	1,354	62.8	33.2	46.2	19.6	8.3	4.8	0.0
加入していない	509	61.7	25.7	35.8	22.8	8.3	7.7	0.0

【PTSA活動に感じること別】

PTSA活動に感じること別にみると、『ぜひ取り組むべきである』で「気軽に簡単に行うことができるような運営方法の工夫」「困った時に気軽に相談できる体制の工夫」「活動参加や運営方法が評価される工夫」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	時間や場所に制約 を受けない活動方 法の工夫	会議や書類等の簡 略化の工夫	気軽に簡単に行う ことができるよう な運営方法の工夫	困った時に気軽に 相談できる体制の 工夫	活動参加や運営方 法が評価される工 夫	その他	無回 答
全 体	2,883	63.7	35.8	46.6	22.6	10.7	5.9	0.0
ぜひ取り組むべきである	232	65.1	38.4	51.7	32.3	18.5	2.6	0.0
取り組むべきである	1,419	66.5	36.2	51.0	26.4	11.3	1.6	0.0
すでに取り組んでいる	254	65.7	37.8	44.9	25.2	13.8	2.0	0.0
取り組む必要はない	978	58.8	34.0	39.5	14.1	7.2	14.0	0.0

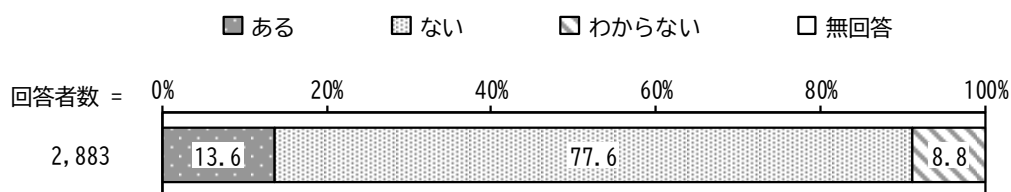
5 P T S A活動について

【調査結果概要】

- 子どもが参画するP T S A活動（P T S A活動）への参加状況では、「ある」が 13.6%と少なく、「ない」が 77.6%となっています。
- P T S A活動についての意見では、「取り組むべきである」が 49.2%と最も多く、「取り組む必要はない」が 33.9%となっています。
- 「取り組むべきである」と答えた理由では、「子どもの成長につながるから」が 71.3%と最も多く、「親子や子ども同士のふれあいが増えるから」が 34.8%、「子ども目線の活動ができるから」が 29.8%となっています。その他には「先生の負担を軽減してほしい」「あいさつ運動はよいが負担を感じる人もいる」などの意見が挙げられています。
- 今後取り組みたいP T S A活動としては、「より子どもたちが行きたくなる学校にするための取り組み」が 49.5%と最も多く、「親子のふれあいを促進する取り組み」が 36.5%、「学校環境の改善につながる取り組み」が 31.8%となっています。その他として「学校では学べない知的好奇心をくすぐる活動」「未知の体験」「子どもの可能性を広げる活動」などが挙げられています。
- 「取り組む必要はない」と答えた理由では、「保護者の負担になるから」が 71.0%と最も多く、「意義を感じないから」が 29.4%、「子どもの負担になるから」が 27.3%となっています。その他には「学校行事を助ける形であれば良い」「活動を行うことで教師や役員の負担が増える」「教員、保護者の負担軽減が必要」「特別な行事を増やすより、普段の学校運営での見守り体制強化を」という意見もみられます。

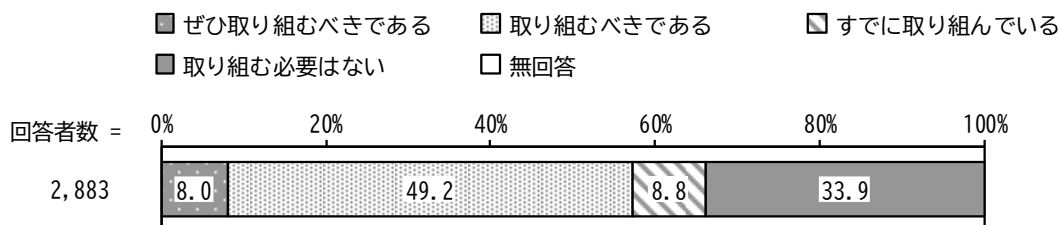
問5－1 子どもと一緒に参加する防災キャンプやあいさつ活動などの子どもが参画するP T A活動（P T S A活動）に参加したことはありますか。

「ある」の割合が 13.6%、「ない」の割合が 77.6%となっています。



問5－2 子どもが参画するPTA活動（PTSA活動）について感じることであてはまるものを選んでください。

「取り組むべきである」の割合が49.2%と最も高く、次いで「取り組む必要はない」の割合が33.9%となっています。



【加入している理由×PTSA活動に感じること別】

PTSA活動に感じること別にみると、『ぜひ取り組むべきである』で「子どものためになると思うから」「学校の役に立つと思うから」「大人同士の交流が広がるから」、『すでに取り組んでいる』で「前から加入していたから」、『取り組む必要はない』で「加入しないといけないと思ったから」の割合が高くなっています。

単位：%

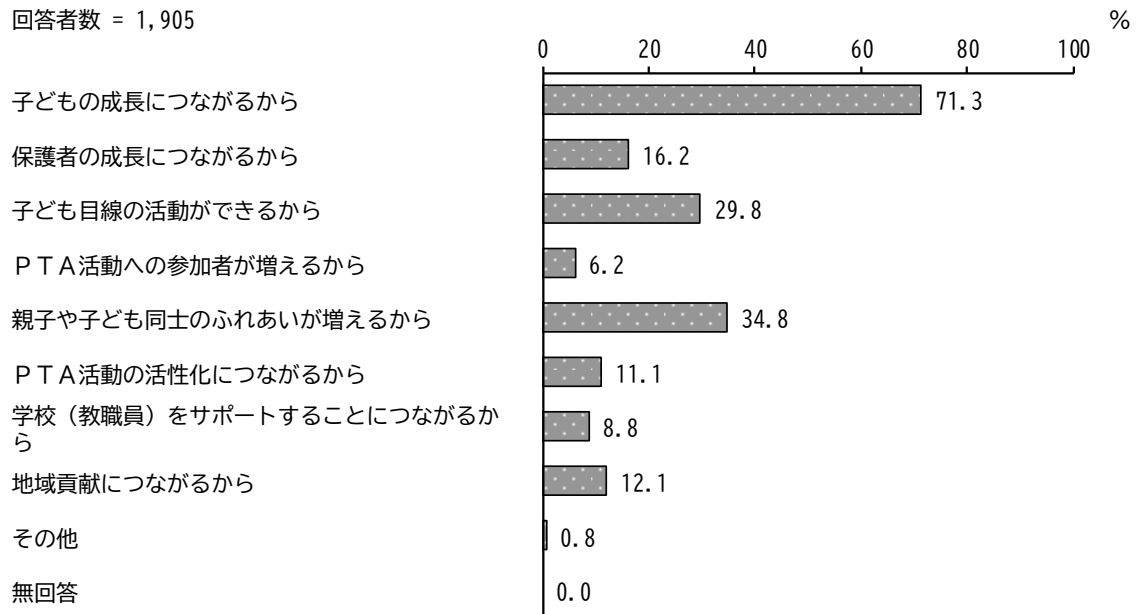
区分	回答者数(件)	子どものためになると思うから	学校の役に立つと思うから	大人同士の交流が広がるから	保護者として成長できると思うから	おもしろそうだから	前から加入していたから	誘われたから	断る理由もなかったから	お願いされたから	加入しないといけないと思ったから	その他	無回答
全 体	2,374	44.0	19.7	7.2	4.3	1.1	15.1	0.6	26.4	1.4	39.5	4.3	0.0
ぜひ取り組むべきである	199	68.8	38.2	18.1	13.1	5.0	15.1	0.5	28.1	2.0	27.1	2.0	0.0
取り組むべきである	1,157	53.3	23.3	8.6	4.7	0.8	14.7	0.6	28.7	1.4	32.8	2.0	0.0
すでに取り組んでいる	229	47.6	23.6	7.0	6.1	1.3	25.3	0.9	25.3	2.2	35.8	4.8	0.0
取り組む必要はない	789	23.1	8.5	2.3	0.9	0.4	12.7	0.6	22.9	1.1	53.5	8.0	0.0

【以下、「取り組む必要はない」以外を答えた人】

問5－3 P T S A活動の取り組みを進める理由であてはまるものを選んでください。（複数選択）

「子どもの成長につながるから」の割合が 71.3%と最も高く、次いで「親子や子ども同士のふれあいが増えるから」の割合が 34.8%、「子ども目線の活動ができるから」の割合が 29.8%となっています。

回答者数 = 1,905



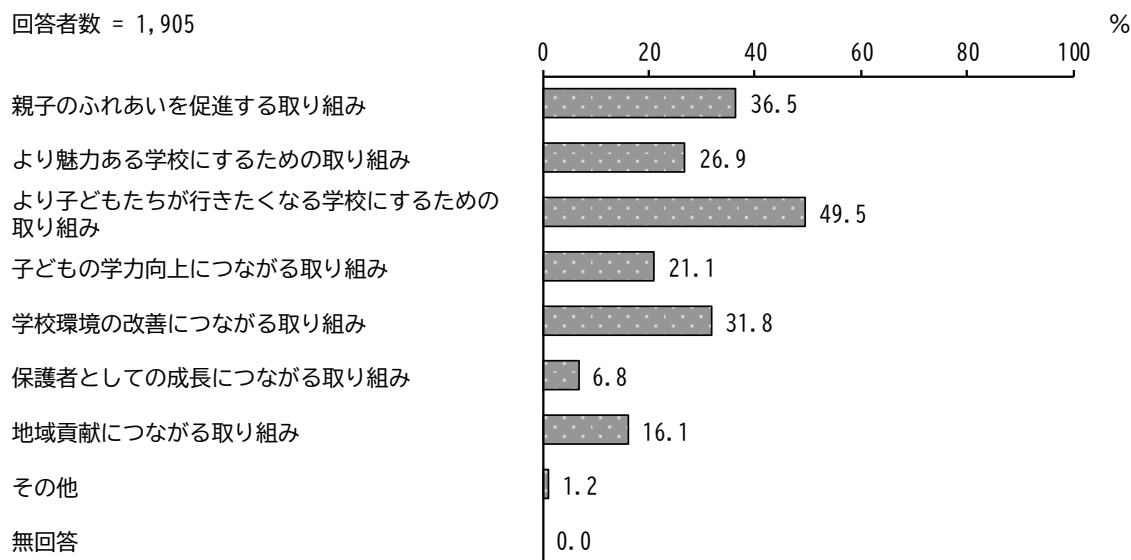
【主なその他意見】

- 先生方は十分にお忙しいので、活動を縮小してさし上げて欲しい。
- あいさつ運動などはいいいと思います。
- あいさつ運動に参加した。朝の忙しい時間をあいさつ運動で校門に立つ時間に割くのは確かに大変。だが、子どものおはようございます！の挨拶は元気をもらえた。元気に登校してくれてありがとうと思えたあの時間はとても良かった。だが、その時間をどう頑張っても捻出できない方もいらっしゃるだろうし、他の人もやるべきだ！とは思わない。

問5－4 今後、PTSA活動として取り組んでみたい内容であてはまるものを選んでください。（複数選択）

「より子どもたちが行きたくなる学校にするための取り組み」の割合が49.5%と最も高く、次いで「親子のふれあいを促進する取り組み」の割合が36.5%、「学校環境の改善につながる取り組み」の割合が31.8%となっています。

回答者数 = 1,905



【主なその他意見】

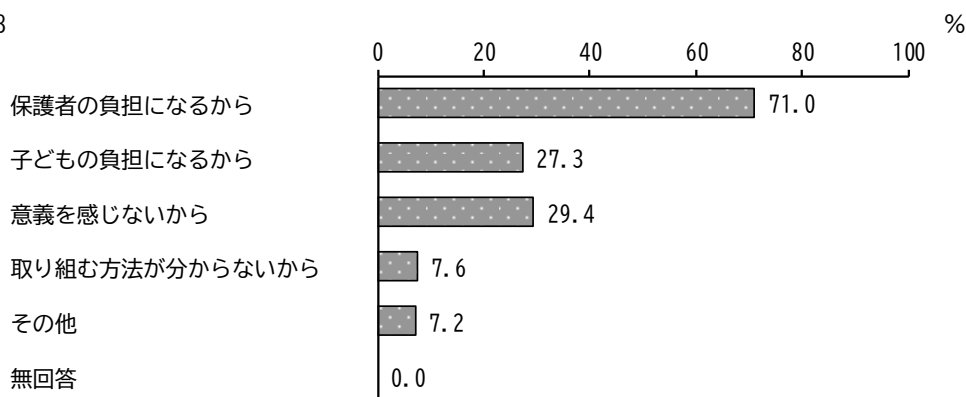
- こどもの学力以外にも知的好奇心をくすぐる活動、学校では学べないことを学べる活動
- 子どもたちに色々な経験をさせてあげられる取り組み
- 子どもが楽しめる内容
- 未知の体験（野菜の種植え、編み物など）
- 子どもの新たな可能性の発掘

【「取り組む必要はない」を答えた人】

問5－5 取り組む必要がない理由についてあてはまるものを選んでください。(複数選択)

「保護者の負担になるから」の割合が 71.0%と最も高く、次いで「意義を感じないから」の割合が 29.4%、「子どもの負担になるから」の割合が 27.3%となっています。

回答者数 = 978



【主なその他意見】

- プラスアルファをしようとせず他質問のその他に回答したように、どんどんなくなっていく学校行事を助けるような形にしていけばいいと思います。防災キャンプなどに手を広げる必要があるか疑問。
- 子どもも保護者も双方が望む場合は企画もいいと思うがそれをただ企画することがいいことだとは思えない。
- 教員の負担が増えるのは反対。
- やりたい人がやればよいと思う。
- 子どものためにはなるだろうが、教師、保護者、とりわけPTA役員の負担が大きい。それでは役員の負担が大きく、成り手がいないことにつながる。やるなら有志や地域との連携を模索するべきだと思う。
- 働き方改革が叫ばれる中、教職員にさらに負担をかけては、教育の質自体が下がりがねないから。
- このご時世共働きが当たり前で、本当に貴重な時間を割いているのでただ大変だと思う。活動内容は素晴らしいと思うけど、実際私も大変だった。有給をPTA活動に使っている状況の人ばかり。地域のネットワークが広がるからメリットがないわけではないし、子どものためなのは理解できる。でも現状、子どもの人数が少ない中で、投票で0歳児のいる方が当たっていて、でも人数少ないから断れない状況で役員をやらせるのは気の毒。役員をやるのが厳しい人も無理にやらなければならない状況はいかがなものかと思います。PTA以外にもいろんな役員があるわけで、毎年何かしらやらないといけない。正直負担。簡素化も全く進んでない、難しいけど私は必要ないと思う。
- 意義はあると思うが、特別な行事を増やすのは働く世帯にとって負担になる。普段の学校運営で先生と保護者が子どもを見守っていける体制しっかり出来れば良いと思う。

名古屋市
PTA活動活性化に向けたアンケート
調査結果報告書

発行年月：令和7年12月

発行：名古屋市教育委員会 生涯学習課
〒461-0001

名古屋市東区泉一丁目1番4号

電話：052-950-5046